

育
み
伸
ば
す。
。



弘前大学

2021

人文社会科学部 教育学部 医学部(医学科、保健学科、心理支援科学科) 理工学部 農学生命科学部
〈大学院〉 人文社会科学研究科 教育学研究科 医学研究科 保健学研究科
理工学研究科 農学生命科学研究科 地域社会研究科 地域共創科学研究科

思い描いた場所で 花を咲かせられるように

C O N T E N T S

学長メッセージ	3	大学院	35
弘前大学における3つの方針[ポリシー]	4	就職支援	37
弘前大学の地域貢献	5	留学支援	41
教養教育	7	生活支援	43
人文社会科学部	9	弘大生の1日	45
教育学部	13	キャンパスカレンダー	47
医学部 医学科	17	キャンパスガイド	49
医学部 保健学科	21	サークル	52
医学部 心理支援科学科	25	弘前ガイド	53
理工学部	27	入試データ	55
農学生命科学部	31		



今、学びの種が芽を出そうとしている。

挑戦して、経験して、その芽は育ち、

どこまでも伸びていく。

そして、きっと、あなたの学びは花開く。

弘前大学で、あなたの芽を育み、伸ばしませんか。



選ばれる 地方大学を 目指して

国立大学法人 弘前大学長

ふく だ しん さく

福田 眞作

弘前大学は、昭和24(1949)年5月に新制大学として発足し、令和元(2019)年に創立70周年を迎えました。北東北地域の総合大学の一つとして、また青森県内唯一の国立大学として、地域の持続的発展を先導する大学を目指していますが、ここで育成する人材や得られる研究成果は、決して地域限定なものではなく世界に通用するものであります。本学のスローガンである「世界に発信し、地域と共に創造する」を具現化するための方策を不断なく実行し、選ばれる地方大学を目指してこれからも前進を続けてまいります。

グローバル化の波は、地方産業にも確実に押し寄せており、国際化の推進は地方大学においても重点的に取り組むべき課題であります。本学は海外の大学や研究機関との連携を強化しており、積極的に海外からの留学生を招き入れ、また本学の学生の海外留学に対する支援を強化しています。世界的視点と地域の視点の双方を身につけた人材の育成が、必ずや地域創生にも生かされると確信しています。

皆さんの大学における「学び」は、いわゆる勉強(本や授業で学ぶこと)だけではありません。キャンパス内での友人との交流をはじめ、地域社会との交流、部活やサークル活動、ボランティア活動、留学およびアルバイトなどを通して、「社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)」を磨いて欲しいと思います。本学の卒業生は、地域はもとより全国そして世界で活躍しています。一部上場企業等へのアンケート調査において「採用を増やしたい大学第一位」に弘前大学がランクされるなど、社会的にも高い評価を受けており、このことは本学における「学び」の成果であるとも言えます。

城下町として栄え、歴史と文化の薫りが高い弘前市は、多くの高等教育機関を有する学園都市でもあります。この恵まれた環境下において、コンピテンシー(職務や役割において優秀な成果を発揮する行動特性)を育むための様々なチャレンジを期待しています。

PROFILE

1956年7月生まれ。秋田県出身。1985年3月、弘前大学大学院医学研究科を修了。医学博士。専門領域は消化器内科学(消化管疾患の病態、診断と治療に関する研究ほか)。弘前大学大学院医学研究科教授、弘前大学医学部附属病院長などを経て2020年4月から現職。学生時代は卓球部に所属。好きな言葉は「寧静致遠」(三国志の時代、諸葛孔明が我が子に書き残した言葉:誠実でコツコツした努力を続けないと、遠くにある目的に到達することはできない)。



弘前大学における三つの方針

1

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

2

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究を通して、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

1. 教養教育

教養教育は学生の探究の第一歩です。

見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多面的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

2. 専門教育

専門教育は、学生の探究の集大成です。

見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践を通して培います。

3. 学士課程教育の再構築

学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身につけた者に対して学位を授与します。

- 学際的な教養と高度な専門性を身につけ、学術的観点から自然や社会を見通す力
- 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

詳しくは弘前大学ホームページをごらんください。

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/policy/policy.html>



ひろだい ↔ しゃかい NOW!

弘前大学の地域貢献

弘前大学では、教育や研究を通して、地域への貢献を続けています。青森県、東北地方だけでなく、それは日本全国の「社会」へ相互につながる、弘前大学の力。弘大と社会の絆の今を紹介します。

研究 × 社会



①



②



③

- ①「岩木健康増進プロジェクト」健診の様子(弘前市岩木地区)。
- ②楽天が運営する「楽天レシピ」を通じて、油・糖・塩の3つを減らすレシピの普及を推進。
- ③弘前市のマルマンコンピュータサービスが開発した、健康教育アプリ「健康物語」。

新たな予防医学を 青森から世界へ!

弘前大学COIプロジェクト

延べ約2万人以上、健診項目2000項目超! ビッグデータを解析し、人々を健康に

弘前大学は、平成25年、文部科学省から革新的イノベーション創出プログラム「COI(センター・オブ・イノベーション) STREAM」の採択を受けました。

主な取り組みは、健康ビッグデータを活用した研究や社会実装です。このデータは、短命県返上を目標に掲げて弘前大学の医学部特任教授 中路重之先生が中心となって行う「岩木健康増進プロジェクト」で得たもの。全学部の教職員・学生らが行政と連携して取り組んでいます。弘前市・岩木地区の住民を対象に大規模住民健康調査を続けた結果、延べ約2万人以上、健診項目も2000項目超という、世界に類をみないほど多項目のビッグデータとなりました。このデータを研究解析することで、未知のさまざまなことが明らかになり、認知症や生活習慣病などの予兆発見の開発や予防法の開発を目指しています。

病気を予測し、一人一人の健康意識を高め、行動につなげる。健康づくりの仕組みができれば、短命県返上は必ずや現実のものとなるでしょう。さらに、青森県での取り組みをモデル化し、世界各国に広げていけば……人類の寿命革命が起こるかもしれません。弘前大学COIは、イノベーション創出と真の社会実装を目指します。

ゲーム作りを通じて地域を知ろう!

生活習慣をめぐる交渉ゲーム

地域の課題に向き合うためには、人々のくらしをよく知り、本音で語り合うことが大事です。人文社会科学部では地域の公民館と連携して健康ゲームを作ってきました。調査で分かった青森の食文化などがゲームに反映されています。さまざまな人がアイデアを生みだせる場づくりにつなげていきたいです。



試作ゲームをプレイする様子

白神生まれの酵母で新たな商品を開発

「弘前大学白神酵母」ブランド化で社会貢献

地域の食産業発展に貢献するため、弘前大学農学生命科学部教員グループが産み出した「弘前大学白神酵母」。この酵母は、白神山地で採取した1,000を超える試料から生まれたものです。現在、4つの地元企業がこれを利用し、新商品を開発・販売しています。さらなる普及を目指して、改良に励んでいます。

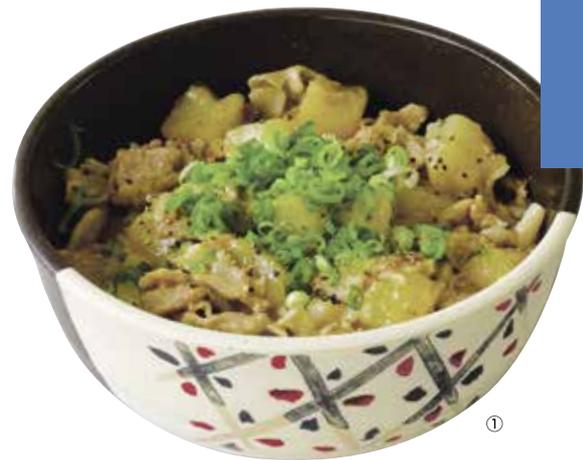


商品化されたシードル、日本酒、りんご酢

りんごの新しい 食べ方を考えよう!

弘前大学6次産業化マイスター育成プログラム

学生
×
地域



①

弘前大学新定番の「りんご豚丼」、 どのように誕生したのか?

弘前大学は、青森県が推進する戦略プロジェクト「食でとことん」に代表される農業の6次産業化を更に推進するため、現場で即戦力として働ける人材の育成を目指しています。その一環として、平成29年から「6次産業化マイスター育成プログラム」に取り組んでいます。本プログラムは、食品企業における商品開発のリアリティを学ぶためにりんご生産・加工・流通の現場体験を通じて、青森県産りんごを使用した新製品を創出し、地域へ活力を注ぐことに挑戦しています。

令和元年度は、(株)木村食品工業および弘前大学生生活協同組合の協力のもと、冷凍りんごを使用した新商品の開発に取り組みました。開発にあたり、参加学生は幾度もメニューやレシピの考案や試食を繰り返し、「りんご豚丼」の販売を実現することができました。その後、弘前大学生生活協同組合文京食堂で出食(販売期間は5日間)したところ、2,000食を販売することができました。当日のアンケート調査結果では概ね好意的な評価も多く、りんご加工品の新たな販路拡大に希望を持てる内容であったと認識しております。

以上のようなプログラムを経験した学生には、「6次産業化マイスター」の称号を授与し、国内外に誇る農産物が豊富に存在する青森県の未来を切り開く人材となるような活躍が期待されます。



②



③

- ①りんご豚丼
- ②「6次産業化マイスター育成プログラム」受講学生(りんご豚丼の提案者)
- ③試食会の様子

地域から学ぶ教育力とコミュニケーション

地域コラボレーション演習で体験する教育実践

この演習は、大学近隣の弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・田舎館村の各教育委員会が企画する教育事業に、大学1年生から参加し、小学生や中学生と遊んだり教えたりします。この実践を通して、児童・生徒とのコミュニケーションスキルを身につけ、教員というキャリアを考え、教育力を地域に育ててもらいます。



小学校で放課後に学習指導している様子

地域に広げよう、笑顔の“輪”!!

お囃子を通じて、地域の皆さんとつながっています

弘前大学には、「弘大^{はやし}囃子組」という、お囃子を演奏するサークルがあります。津軽には、8月のねぶた祭りや、9月の岩木山へのお山^{やま}参詣の時に演奏するお囃子があり、地域の人々に親しまれています。これらのお囃子を市内の施設や各所イベントで演奏したり、子供たちに教えたりしながら、地域の皆さんを笑顔にしたいと思い、活動しています。



施設を訪問し、お囃子を演奏する様子

未来を切り開く力を育てる。

社会の急激な変化の中、個人にとっても社会にとっても将来の予測が困難な時代にあって、未来を見通し、これからの社会を担い、未知の時代を切り開くことのできる学生を育成することが、弘前大学の責務です。さらに、グローバル化が加速するとともに、活力ある地域の形成も求められている現代にあって、世界規模の視点を持ちながら、同時に地域の未来を担っていく人材の育成も急務です。

このような人材を輩出していくため、弘前大学で学んだという誇りを胸に、地域で、また世界で活躍できるよう、学びの質的転換を図り、学生の人間基礎力を育成する教養教育を目指していきます。



教養教育の目的

- 主体的・能動的学修への転換
- 文理融合教育による多角的な視点や思考法の獲得
- 国際共通語としての英語能力の獲得
- 地域志向性(地域が持つ強みや課題の理解、課題解決への意欲等)の涵養
- 国際性(異文化理解、多文化共生等)の涵養

教養教育の科目



スタディスキル導入科目

■基礎ゼミナール

正解のある問題をいかに解くかという「学び」から、自ら問題を発見し考え、解を求める「学び」へと質的な「学びの転換」を図るため、「能動的学修(アクティブ・ラーニング)」を導入し、思考法の獲得をめざします。

■地域学ゼミナール

学部横断によるクラス編成を行い、地域課題をテーマとしてPBL (Problem Based Learning)を学生に体験させることにより、多元的な視点や思考法の獲得、地域課題解決への意欲の向上等をめざします。

ローカル科目

■青森の行政

地方自治体が抱える課題を素材として、地方自治の全体像の理解を深め、地域が抱える課題について具体的に考えることで、多角的な視点を養います。

その他の科目：青森の経済・産業、青森の文化、青森の歴史、青森の芸術、青森の民俗・芸能、青森の自然

グローバル科目

■グローバル社会・経済

海外で展開している日本人の企業の事例や、金融システムの各国との比較などから、グローバル時代の海外ビジネスのあり方や多様な働き方について考えます。

その他の科目：国際地域、比較文化、世界の芸術・芸能、地球環境、グローバルヘルス、日本

学部越境型地域志向科目

■青森の多様性と活性化

青森について多様な切り口から理解を深め、課題解決や資源活用の方法を探り、活性化の方策について考察します。

その他の科目：青森の食と産業化、市民参加と地域づくり、青森エクスカッション、地域プロジェクト演習

社会・文化

■くらし・文化

人間のくらしを支えている文化と社会の状況について学び、人間の社会の多様性を読み解くためのアプローチの方法や視点を学びます。

その他の科目：歴史・地理、思想、言語学の世界、文学、芸術、政治経済・社会、法と社会A・B

自然・科学

■環境と生活

環境と生活について、人間が生活を営むに当たって引き起こされた環境の実態、環境が人体へ与える影響の両面から考察します。

その他の科目：工学の世界、農学の世界、数学の世界、物理学の世界、化学の世界、生物学の世界、情報処理入門A・B

人間・生命

■人間の尊厳

生と死をめぐる諸問題などの個々の事例から、人間ひとりひとりがかけがえのない存在であることを理解し、人間についての理解を深めます。

その他の科目：人を育む営み、心理学の世界、メンタルヘルス、生活と健康、運動と健康A・B、医学・医療の世界、情報と健康・医学

キャリア教育

■キャリア形成の基礎

将来の目標を設定・自己理解の上、学びの目標を立てます。地域の多様な職業を職業人と接することを通じて学び、地域社会との関わりの中で自分の役割や将来ビジョンを考えます。

その他の科目：キャリア形成の発展、キャリアデザイン

英語

■Listening (初級)

初級レベルのリスニングを中心に、リーディング・スピーキング・ライティングの3技能と組み合わせながら学び、総合的な英語力の基礎を身に付けます。

その他の科目：Listening(中級・上級)、Reading(初級・中級・上級)、Speaking(初級・中級・上級)、Writing(初級・中級・上級)、Integrated A、Integrated B Level 1・Level 2、Integrated C

多言語

■ドイツ語 I

読み・書き・話す・聞くことについて基礎的な学習をして、ドイツ語による初歩的なコミュニケーションができる能力を身に付けます。

その他の科目：ドイツ語Ⅱ・Ⅲ、フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ロシア語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱ



◀詳しくはシラバスを見てみよう!

1年前期	1年後期	2年	3年	4年
スタディスキル導入科目				
必修 基礎ゼミナール	必修 地域学ゼミナール	選択必修	学部越境型地域志向科目	
選択必修 ローカル科目	選択必修 グローバル科目			
	必修 キャリア教育	選択必修または選択	キャリア教育	
選択必修 ①社会・文化 ②自然・科学 ③人間・生命				
必修	英語	必修または選択	英語	
選択		多言語		

多元的な文化理解と現実の課題解決を重視し、 地域社会の活性化と文化の創造・発信に貢献します。

人文社会科学部は人文学部を改組することによって、平成28年4月に設置されました。人文社会科学部を設置した目的は、北東北地域における人文社会科学分野の主要な高等教育研究拠点の一つとして、27年度まで人文学部が担ってきた機能・役割を新学部の教育目標の実現にむけて、一層充実強化することにあります。この教育目標というのは、「多元的な文化理解と多様性認識、地域文化を含む自国の文化の創造力と発信力の養成に力を入れつつ、地域課題を含む現実の課題の解決に重点をおいた実

践型教育を提供することで、地域社会の活性化に寄与する人材を育成する」というものです。

人文社会科学部には、文化創生課程と社会経営課程という2課程のもとに、文化資源学コース・多文化共生コース・経済法律コース・企業戦略コース・地域行動コースという5つのコースが設置されています。まずは、教養教育科目と学部基本科目等の履修を通して学習の基礎を積んだのち、各コースにおいて運営される特色のある教育カリキュラムを履修することによって、人文社会科学の各分野の専門知識・

技能をしっかりと学習するほか、学習した知識・技能を実践の場において役立てるための応用力を身につけることができます。

私たちは、グローバル化が世界的な規模において急速に進展し、少子高齢化による人口減少等がより深刻化しているという状況の中で、日本社会が大きな変化を求められる時代に生きています。皆さんが、人文社会科学部で習得した専門知識・技能をもとに、青森県内はもとより、国の内外において広く活躍されることを切に願います。

人文社会科学部の3つのポリシー [概要]

アドミッション・ポリシー

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 人文科学と社会科学の諸領域(考古学、歴史学、文学、哲学、法学、経済学、経営学、社会学等)に関わる専門的知識・技能を習得するための基礎学力
- 学んだ専門的知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
- 人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

文化創生課程

■地域社会の発展のために、地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていただけるような行動力のある人

■国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

社会経営課程

■地域社会の発展のために、自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決

等に貢献していくことができるような行動力のある人

- 少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

カリキュラム・ポリシー

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供するという観点から、教養教育と専門教育のカリキュラム・ポリシーをつぎのように定めます。

教養教育

- 幅広い教養と外国語の運用能力をしっかりと身に付け、世界情勢や地域課題を的確に見極める力を養います
- 基礎ゼミナール等の実践的学習をとおして国際社会や地域社会の多様性を認識するとともに、人間や社会に共通する課題を発見・解決する力を養います

専門教育

- 人文社会科学分野の専門的知識・技能を獲得するとともに、英語をはじめとする外国語の運用能力を実践的な語学教育をとおして身に付けることで、人間文化を多元的に理解する力、現代社会の複雑さを的確に見通す力を獲得します

- 実習・演習や卒業研究等を通じて、地域の優れた伝統文化を含む自国の文化を創造・発信する力、地域課題を含めて、現実社会が直面する諸課題の解決に役立つ応用力・実践力を獲得します

ディプロマ・ポリシー

- 教養教育と専門教育をとおして培った幅広い見識と高度な知識・技能等をもとに、人間の本质を深く理解しつつ、社会の動向を見通す力を修得していること
- 専門的知識・技能を実践の場に活かすことによって、現代社会が直面するさまざまな課題を解決していく力を修得していること
- 歴史文化に対する深い認識と人間社会に対する広い視野をもって、生涯にわたって自分自身を成長させていくための探究力を修得していること

詳しくは学部のホームページをご覧ください。





文化創生課程

多角的な文化理解に立って、自国と諸外国の歴史・文化・伝統を正しく評価するための理解力と判断力、さらには自国の文化を創造・発信するための独創性とコミュニケーション能力を養います。

定員
110名

文化資源学コース

国内外の有形無形の文化遺産や思想、文献、言語を研究の対象とし、その普遍的価値を明らかにして次世代に伝えていくことのできる人材を育成します。

[学べる領域]

考古学、文化財論、文化財科学、芸術史、民俗学、日本倫理思想、西洋倫理思想、日本語学、日本古典文学、日本近現代文学、言語学 など

多文化共生コース

英語をはじめとする外国語の高い運用能力を身につけ、国内外の歴史・文化理解をもとに、世界情勢を的確に見極めつつ、地域社会のグローバル化の推進に貢献する人材を育成します。

[学べる領域]

多文化共生論、グローバルコミュニケーション論、英語学・英米文学、日本史・西洋史・中国史、西洋古典文化論、アジア地域学、アメリカ・オセアニア地域学、言語コミュニケーション など



社会経営課程

実践型授業を通して、自治体の政策立案の現場や民間企業の経営戦略、地域住民との協働による問題解決の場で、課題解決に主体的に関わることのできる人材を育成します。

定員
155名

経済法律コース

経済学と法学の両分野にまたがる専門的・体系的知識の習得と実践的活用に重点をおき、自治体や民間企業において活躍できる経済法律分野の専門家を育成します。

[学べる領域]

経済学、法学、財政学、行政学、経済政策、金融論 など

企業戦略コース

経営学・会計学の専門知識をもとに、グローバル化が一層加速する現代において、世界的かつ地域的視点から地域産業の育成と発展に寄与する人材を育成します。

[学べる領域]

経営戦略論、ベンチャービジネス論、簿記システム、財務会計、マーケティング論 など

地域行動コース

社会的的手法による課題解決型学習を通して、少子高齢化・過疎化・人口減少といった日本社会に共通する課題の発見・分析・解決等に寄与する人材を育成します。

[学べる領域]

社会調査論、人類学、社会学、社会心理学、住民生活論、住民参画論 など



人文社会科学部
学びの
スタイル

研究テーマは中国史
海外との交流ができる
観光の仕事が夢!

文化創生課程 多文化共生コース 3年

生駒 大騎さん

東北学院高等学校出身

海外交流の支援が手厚い弘大
協定校の多さも魅力です!

海外との交流に強い憧れがあり、観光の仕事に就きたいという夢があったので、学生の海外留学を積極的にバックアップしている弘前大学を志望しました。現在の課程を選んだのは、学問の領域が広く、自分の興味があることになんでも挑戦できそうだと思ったからです。今、中国史を研究しており、なかでも天文に関する分野に注目しています。現在、所属している「中国史研究室」には、1年生の頃からよく遊びに行っていました。先生や先輩たちも温かく受入れてくれて、とてもいい雰囲気だったので、迷わず今の研究室を選びました。

他学部との交流も活発
総合大学ならではの面白さ

総合大学は、他学部の学生との交流や情報交換ができるのが魅力。現在、教育学部の先輩から紹介された「さくらボランティア」というサークルに所属し、小学生と遊んだり、障害者の方の買い物をサポートする活動を行っています。また、弘前市りんご公園でバイトをしており、海外から訪れた観光客の案内や、りんごの収穫体験のお手伝いをしています。



りんご農家でのバイト風景。りんごの苗木を植える前に、畑に肥料をまく作業をしているところ。

海外研修プログラムに参加し
アメリカの協定校で研修

海外研修プログラム「トラベルスタディーズ」に参加し、協定校であるアメリカのテネシー大学マーチン校で2週間、研修しました。インターンシップでは、大手旅行会社やホテルで研修を行いました。いろいろ勉強するうち、「観光業は、平和維持産業の一環でもある」という側面を知り、ますます意義深い仕事だと実感!自分の夢をかなえるため、いろんな経験を糧にして成長したいと思います。



トラベルスタディーズでテネシーに滞在した時のワンシーン。オハイオ川沿いにある橋の前をダッシュ!

人文社会科学部 研究室 探訪



立場の違いを読み解き、
自分なりの見解を主張する力を!

社会経営課程 刑法研究室

犯罪や刑罰の正当化などの 問題を文献や判例で研究

刑法は、理論的な対立が非常に激しい分野で、さまざまな見解が主張されています。その対立は、結論が違っている場合やあるいは結論は同じでもその理由付けが異なっている場合などさまざまです。刑

法上の議論は、被告人の有罪、無罪にも直結します。それぞれの立場の違いを読み解いたうえで、自分なりの理由付けで見解を主張していけるのがこの分野の魅力です。

弘前大学では、実際に法律の現場で活躍している裁判官や弁護士の出前授業もあります。また、裁判所や検察庁、刑務所、保護観察所など、さまざまな機関を訪問してお話を聴く機会も設けています。地域との連携という面でも非常に恵まれた環境にあり、学びを深めることができます。



①研究室では、判例や文献を手がかりに先生とディスカッションしながら研究を進めている。
②青森地方裁判所での裁判員裁判法廷見学。
③ゼミ風景。

総合的な法学の力が養われる 恵まれた学びの環境

社会経営課程 3年
山谷希美さん
青森県立青森高等学校出身

中高生の頃から法律を学べる大学を希望していました。実際の裁判では多分野の知識が必要になるので総合大学で学ぶ意義は大きいですね。平野先生は、卒論に対しても段階をふまえ熱心にアドバイスして下さいます。裁判所を訪問した際、「裁判所事務官」の仕事を知り、将来は自分もめざしたいと思っています。

弁護士として、最前線で 活躍している卒業生も!

社会経営課程
平野潔 教授

刑法分野では哲学や医学、少年法分野では心理学や教育学など、法学を学ぶにはさまざまな知識が必要です。弘前大学は総合大学であり多分野の講義を履修することができるため、総合的な法学の力を付けるには非常に恵まれた環境です。ロースクールを卒業後、弁護士として活躍している卒業生もいます。



確かな「専門の力」と「実践的指導力」を兼ね備えた、 地域から期待され他者と協働できる教員を養成します。

弘前大学教育学部は、これまでに培ってきた伝統や実績をブラッシュアップし、次代へとステップアップを目指します。そのテーマは、「専門力と実践力を兼ね備えた、地域から期待される教員の養成」です。

今日、学校教育現場では、社会構造の変化によって、グローバル化・情報化等新たな教育課題への対応が求められています。一方、キャリア教育、環境教育、健康教育等、生活に密着した教育課題への対応も急がれています。また、学校園が、地域のコミュニティの活性化の拠点と

なるように期待されるなどの多様化が進む中で、幼稚園や学校の教員は、幅広いニーズに対応しなければなりません。

教育学部では、「教わる側」から「教える側」へ、「専門力の充実」と「実践力の強化」の側面から段階的に教員への道のりをサポートします。これまでに築き上げた教育学部独自の「専門力の充実」のためのカリキュラムに、人文社会科学部、理工学部、農学生命科学部、医学部を有する総合大学の強みを活かした「新しい教育や地域課題への対応」のための教育プログラ

ムを融合したカリキュラムを展開します。さらに、附属学校園での教育実習に加え、教育委員会、公立学校、そして地元企業との連携による、地域や教育現場での実体験を中心とした「地域協働型教員養成」プログラムにより「実践力の強化」を目指します。

名峰岩木山の麓に位置するこの弘前大学教育学部で、皆さんが志をとる仲間たちとともに、確かな専門性と揺るぎない教育実践力の礎を築くためのサポートをします。

教育学部の3つのポリシー [概要]

アドミッション・ポリシー

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していくこととする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していくこととする意欲

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻

- 小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

- 障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

養護教諭養成課程

- 養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

カリキュラム・ポリシー

教養教育

- 見通す力: 学生に諸学問の基礎を修める機会を提供することで、教育が果たすべき社会的使命とは何か、その使命を果たすためにどのような教育実践が求められるのか、多角的に検討できる力を養います。
- 解決していく力: 学生に地域社会の教育実践の現実に触れる機会を提供することで学生の教育問題への想像力や感受性を養い、学生が一人の教育者として、そして教育の実践共同体の一員として教育問題の解決に挑戦できる力を養います。

専門教育

- 働きかける力: 学生に、教育の目的と制度、内容、方法、児童・生徒理解といった教育実践に関する知識・技能等を深く理解させることにより、自律的に児童・生徒に働きかけていくための専門力を養います。(自己形成科目群)
- 反応を読みとり働きかけ返す力: 学生に、学校現場を経験させ、自らの働きかけに対する児童・生徒の反応を的確に読みとり、それに応じた適切

な働きかけを考え実践し、児童・生徒等の発達を促すことができるような実践力を養います。(学校臨床科目群)

- 自律的発展力: 学生に、学校現場体験の省察により、自らの専門力・実践力両面における到達点と課題を明らかにさせ、さらなる知識・技能等の向上を図り、よりよい教員を目指して成長していく力を養います。(教員発展科目群)

ディプロマ・ポリシー

- 教育学の専門的な知識や技能を修得し、教育現象を深く洞察できる力
- 教育者としての倫理観や向上心を持ち、教育実践を主体的に推進できる力
- 地域社会で活躍する教育者として、日々変化する教育課題の解決に貢献し続ける力

詳しくは学部のホームページをご覧ください。





学校教育教員養成課程

子どもに特有の心理・行動への理解を深め、日々、学校という現場で起こるさまざまな出来事や問題への対処法を幅広く学ぶことを通して学校教員という将来を目指します。

定員
140名

初等中等教育専攻 [定員130名]

- 小学校コース [定員80名]
- 中学校コース [定員50名]

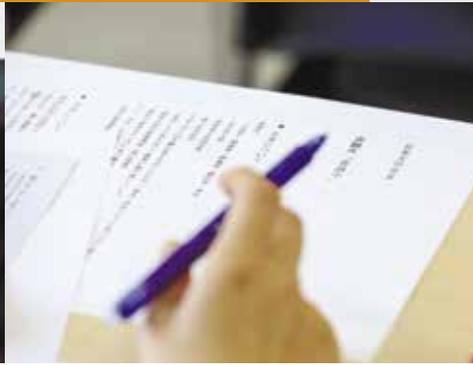
高い専門性と、さまざまな教育課題に対応できる実践的指導能力を兼ね備えた学校教員を養成します。

[学べる領域]
小学校教育、中学校教育、幼児教育、教育科学、発達心理 など

特別支援教育専攻 [定員10名]

さまざまな障害のある幼児・児童・生徒に対する教育・支援について、歴史や制度、心理、指導法などの視点から総合的に学習します。特別支援学校の教員や特別支援学級、通級による指導等で専門的な指導ができる学校教員を養成します。

[学べる領域]
特別支援教育の基礎理論、知的障害者の心理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の指導法、LD者等教育総論、特別支援教育相談支援 など



養護教諭養成課程

東北の国立大学法人では唯一の養護教諭養成課程です。子どもの心身の健康に寄り添う専門性と実践力を持った養護教諭を目指します。

定員
20名

養護教諭養成課程

養護教諭とは学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理によって、児童・生徒の発育発達を支援していく教員です。本課程では、学生同士の学び合いや成長を大事にしながら、児童・生徒の健康課題の解決や、健康に生きる力を育むために必要な知識と技術、考え方について幅広い分野から学び、高い専門性と実践的指導力のある養護教諭を養成します。

[学べる領域]
養護学、衛生学、学校保健、精神保健、小児保健、学校看護学、解剖学、生理学、救急処置、臨床医学 など



教育学部 学びの スタイル



地域に根ざした多彩な講義 教員をめざすには最適な環境!

高校の担任が英語の先生だったので、知識の引き出しの多さ、また、陰の努力を惜しまず生徒一人ひとりのことを考えて接してくださる姿に憧れ、英語の先生になりたいと思いました。青森の豊かな自然やお祭りが大好きな自分にとって、弘前大学は最適な環境!地域に根ざした教育を行なっていることにも惹かれ、弘前大学を志望しました。

1年次から段階的に経験 教育実習の手厚さが魅力

弘前大学教育学部の特徴は、教育実習の体制が手厚いこと。1年次には市内の小・中学校で授業を参観、2年次には3年生の先輩が授業を行う様子を観察します。3年次は、毎週火曜日に附属中学校で実習を行い、2週間の集中実習では教壇に立って授業を行います。先日の集中実習では、子どもたちがリラックスできるようにぬいぐるみを使って英語の授業を行いました。夏休み明け初日の授業ということもあり、子どもたちの集中力が途切れないかと心配でしたが、1年次から段階的に経験を積んでいたため、ものおせず工夫を凝らした授業を行うことができました。



地域と連携したさまざまな学び 国際交流も活発

私の出身高校ではねぶたを制作し、五所川原立佞武多に参加しており、私も毎年、高校の後輩たちと一緒に制作や運行に関わっています。1年生の時には、教育学部の短期語学研修「メイン・プログラム」に参加し、メイン州立大学で3週間学びました。弘前大学は、地域との関わりも深く、国際交流もさかんなので、いろんなことに挑戦できる環境が整っています。

教育現場の現状を知り 実践力を強化できる 独自のカリキュラム

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 3年

佐藤 圭さん

青森県立五所川原高等学校出身



特別支援教育の現場で活躍できる 専門的な技能と実践力

特別支援教育学
(特別支援教育に関する心理、臨床発達心理学)

対象児の特性に合わせた 伝え方・教え方の工夫

知的障害や発達障害など、特別な教育的支援を必要とする幼児・児童やその家族、教師・保護者に対する発達支援を行なっています。実際には、教育学部附属特別支援教育センターの活動と連動させて、弘前市内の学校や療育施設などとも連携しながら、特別な教育的支

援を必要とする地域のお子さんへの社会性や運動発達の支援に取り組んでいます。私たちは、日常の暮らしのなかで感覚的に身につけている社会のルールがあります。しかし、特別な教育的支援を必要とする子どもたちは、それらの理解が乏しいがためにトラブルを起こすことも少なくありません。子どもの特性や背景に合わせた教え方・伝え方を工夫しながら、彼らが少しでも社会に羽ばたけるように支援しています。それらは大変奥深く、自分自身を深めていくことにもつながります。



①子どもたちのための教材を制作しているところ。
②教材を使ったリハーサル風景。
③対象児について先生と一緒にミーティング。

実習を重ねることで リアルな現場で実践力を磨く

学校教育教員養成課程
特別支援教育専攻 3年
木村 恵さん
つくば秀英高等学校出身

適応教室やフリースクール、SNS型の支援など、個々の特性に適したさまざまな方法について学んでいます。先生からは、論文を読んだうえで、自分ならどのように発展させ研究していくかということを中心に考える大切さについてご指導をいただいています。将来は、特別支援学校の先生になって子どもたちと関わるのが夢です。

地域の子どもたちを受入れる 全国でもまれな目玉科目

学校教育教員養成課程
増田 貴人 准教授

特別支援教育専攻の専攻科目「特別支援教育相談支援」は、週1回、弘前大学を訪れる地域の子どもとご家族を対象に教育相談を担いながら、実践的に学ぶ授業です。大学内で行なわれる学生参加型の教育相談は全国的にもまれで、地域に根ざした本学教育学部の目玉科目として学生の実践力向上に役立てられています。



豊かな人間性を持ち、高度で先端的な医療を実践できる 医師および医学研究者を育成します。

医学科の教育課程の特色は「地域を志向した教育」、「社会の変化に対応した教育」、「リサーチマインドの育成」にあります。1年次から早期臨床体験実習を行い、クリニカルクラークシップ(6年次)では4週間の地域(へき地)医療実習を義務付けています。さらに、地域医療入門、社会医学実習などのフィールドワークを取り入れ、医の原則(医療倫理学)、被ばく医療学、医療安全学は社会のニーズに対応した授業です。研究室研修(3年次)では4か月にわたり、マンツーマンで研究の手ほどきを受けます。これらの教

育を展開することで、広い視野と柔軟な思考力を有し、郷土を愛する医師の育成を目指しています。

各講座では特色のある先端的研究が行われており、医学研究科には200名を超える大学院生が在籍しています。附属の教育研究施設として、脳神経血管病態研究施設、高度先進医学研究センター、子どものこころの発達研究センターがあり、生活習慣病研究や社会の疾病構造の特性を踏まえた研究(脳疾患、心疾患、がん等)を展開しています。

附属病院は青森県における医療の中核的役割を担っています。地域医療への貢献に加え、県内唯一の高度救命救急センターは被ばく医療や高度救命救急医療の拠点となっています。さらに、附属病院には被ばく医療総合研究所が隣接しており、平成27年に弘前大学は原子力規制委員会から原子力災害医療・総合支援センターおよび高度被ばく医療支援センターに指定され、東北・北海道における被ばく医療の拠点として位置付けられています。

医学部医学科の3つのポリシー[概要]

アドミッション・ポリシー

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組み、知的・人格的に成長していくこととする意欲

カリキュラム・ポリシー

基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材を養成することを目指し、以下のような学習を実施します。

- 学生に国際認証に対応した医学的専門知識と技能を体系的に教授することで、医療・医学への洞察を深化させる力を養う。
- 専門基礎科目により、学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促す。これにより、高度先端医療や地域医療が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養う。
- 専門科目の演習・実習科目により、学生に高度先端医療や地域医療の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供する。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できる力を養う。
- 専門科目のコア科目により、学生に、医学的専門知識と技能を医療・医学の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供する。これに加えて各専門領域の深い見識と医療倫理・医学倫理も、実践を通して培う。
- 診療参加型実習(臨床実習Ⅰ・Ⅱ)を主体に、学生が医療現場の一員として充実した大学生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探求の習慣を確立させる。

ディプロマ・ポリシー

医学部医学科では、上述のカリキュラム・ポリシーに基づいて編成された教育課程にそって医学的専門知識と技能を習得するとともに、人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担うために、求められる社会的役割を的確に果たすことができる三つの素養を、身に付けたものに対して学士(医学)の学位を授与します

- 豊かな人間性と高度な医学の専門知識を身に付け、人間的・科学的観点から社会の要請を見通す力を身に付けていること
- 広い視野と柔軟な思考力を基盤に、医療・医学の問題を解決していく実践的な力を身に付けていること
- 専門性を生かした国際基準の基礎的かつ、応用的な医学・医療を常に学修し、生涯にわたり自らを成長させ続ける力を身に付けていること

詳しくは学科のホームページをご覧ください。





医学科

豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を果たすことができる医師および医学研究者を養成するため、効果的に医学を学ぶことのできるカリキュラムのもと、人間性と社会性を高めることのできる教育を行っています。

定員
112名

特色あるカリキュラム(実習)

附属病院や関連医療機関での臨床実習は5年次に始まります。本学科では、臨床医学の入門的な実習を入学当初から設けています。

早期臨床体験実習

入学後早期から見学を中心に医療現場に入り、患者さんとの接し方を体験します。

診療参加型実習

医学を全般的に学んだ後、医師の指導のもとに臨床医療に参加することで医師となる準備をします。医療過疎といわれる地域も訪れます。

[学べる領域]

【基礎医学】解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学、社会医学、法医学 など

【臨床医学】内科学、外科学、整形外科、皮膚科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、産科婦人科学、放射線医学、麻酔科学、脳神経外科学、歯科口腔外科学、形成外科学、救急・災害医学、臨床検査医学、病理診断学、小児外科学、医療情報学、総合診療医学、薬剤学 など
(内科学・外科学は、消化器病、循環器病など臓器別全領域)

【附属教育研究施設】脳神経血管病態研究施設、高度先進医学研究センター、子どもこころの発達研究センターなど



医学部医学科のカリキュラム概説

臨床医学入門

- 1年次から実際の医療現場へ入り、見学と実地を通して患者さんとの接し方を体験します。

診療参加型実習

- 医学を全般的に学んだ後、指導医とともに臨床医療に参加する機会。また、医療過疎と言われる地域も訪れます。

基礎医学科目

- 2年次から本格的な専門科目がスタート。基礎医学科目との位置付けで、講義・実習が並行する履修スタイルが4年次まで。

- 3年次に組み込まれている研究室研修では、講座研究室への配属を通し、専門領域の一端に触れます。

臨床医学科目

- 3年次にスタート。4年次には、系統ごとの科目の講義を集中的に履修します。

- PBL (Problem Based Learning)は8~9名程度の学生をチューター1人が担当し、学生が主体となり必要な知識を探索し問題点を解決する手法を学ぶ能動的参加型学習です。

- 5年次に始まる臨床実習(6年次前期まで)に先立ち、CBT[総合的知識試験]・OSCE[客観的臨床能力試験]という共用試験に合格することが求められます。

- 臨床実習Iでは附属病院・関連医療機関の臨床部門にある各科を、ローテーション形式で回ります。臨床実習IIでは、Student Doctorという立場で、チーム医療に参加します。

- 6年次後期の総合試験で、一連の医学教育に関する習熟度・定着度をチェック。その後は、医師国家試験へ向けて最終段階の勉強を積むこととなります。

【医学部医学科/カリキュラム】

学 年	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年	
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
教養教育	■											
専門基礎科目 (一部コア科目)			■				■					
専門科目 (コア科目)			■									
専門科目 (実習)			■									
研究室研修					■							
PBL								■				
専門科目 (CBT・OSCE)								■				
臨床実習I (臨床実習I)									■			
臨床実習II (臨床実習II)											■	
総合試験												■

医学部医学科 学びの スタイル

医師として働くうえで 人間的に成長できる 弘大のカリキュラム

医学部 医学科6年
三浦桐子さん
青森県立弘前高等学校出身



患者さんとの対話を大切にする 祖父の診察姿を見て

子どもの頃、祖父が開業する病院を訪ねた際に、患者さんとの対話を大切にする祖父の姿を見て、私も地域の人々の役に立てる医師になりたいと思ったんです。高校時代、弘前大学が、青森県の短命県返上に向けて熱心に取り組んでいることを知りました。青森県の課題解決に向けて最前線の取り組みを行っていることに魅力を感じて弘前大学を志望しました。

多種多様な考え方にふれられる 学部越境型の授業

1年生の教養教育科目では、外国語や哲学など、自分の専門外の分野についても幅広く学ぶことができます。全学部の学生と一緒に学ぶことで、多様な考え方にふれ、ディスカッションなどを通じて視野が広がります。医師は、さまざまな職業や背景を持った方々と接する仕事なので、総合大学で学んだ経験が生かされるのではないかと考えています



サークル活動が活発で 新しいことに挑戦できる環境

医学科では、低学年のうちから福祉施設や病院で実習する機会があります。また、授業の一環で「岩木健康増進プロジェクト」にも参加しました。実習先で、私が弘前出身だと話すと、皆さん口々に「頑張ってるね!」と声をかけてくれたのがうれしかったですね。実習を通じて地域の方々と交流する機会も多く、モチベーションアップにもつながっています。

硬式テニスサークルの仲間と汗を流したり、漢方医学研究会では部長を務め、学祭に参加したのもいい思い出です。将来は、内科系を志望しているのですが、患者さんと信頼関係を築きながら、地元・青森のために貢献できる医師になりたいです。

最先端の医療と患者さんに寄り添う 地域医療を提供する

医学部医学科 研究室 探訪



呼吸器内科学講座

肺という臓器を中心に多くの 領域で患者さんと向き合う

呼吸器内科は、肺という臓器を中心に、肺癌などの腫瘍、喘息などのアレルギー疾患、肺炎、結核などの感染症など、さまざまな領域にわたって患者さんと向き合います。また、胸部画像診断、気管支鏡検査などを総合して的確な診断を目指しています。さらに、抗がん剤などの薬物治療

や人工呼吸器管理など、急性期から在宅酸素療法などの慢性期、肺癌の終末期など切れ目のない医療を提供できるよう日々奮闘しています。

当科では、2018年より東北地方で初となる気管支鏡下でのクライオバイオプシーを導入しています。また、肺癌をはじめとする多数の臨床試験、治験を通して最先端の医療を学ぶことができます。一方で、患者さんの職業、家族構成、経済状況などの社会背景に合わせた治療を行うなど地域医療の役割も担っています。



①気管支鏡を用いて検体を採取し、診断方針を決めていく。
②レントゲン写真を見ながら活発に議論を行なう。
③指導教官が研修生に指導を行なっている様子。

呼吸器内科分野で悪性腫瘍の 患者さんの治療に貢献したい

医学部 医学科6年
布村恭仁さん
青森県立弘前高等学校出身

呼吸器内科分野では、1枚のレントゲン写真を見ながら複雑な病態に関して先生からいぬいにご指導いただくことがあります。学生の立場でも、新たな抗がん剤など最新の情報にふれることができます。将来は、悪性腫瘍に苦しむ患者さんに寄り添いながら、新たな治療法を用いて治療に取り組みたいと思っています。

肺を通して患者さんの トータルマネジメントを行う

呼吸器内科学講座
白鳥俊博 助手

気道内皮細胞におけるウイルス応答に関する細胞内分子機構について研究しており、将来は結核などの感染症について学びたいと思っています。呼吸器外科、放射線科、薬剤部、リハビリなど多職種が連携し診療に取り組んでいますが、根治できる呼吸器疾患が少ないからこそ、患者さんと共に乗り越えるという気持ち大切にしています。



全国でも有数の5専攻体制のもと、 チーム医療を支えるスペシャリストを養成します。

弘前大学医学部保健学科は2000年10月に設置され、その後十数年を経ながら、その役割・成果を挙げ続けています。2005年4月に開設された弘前大学大学院医学系研究科保健学専攻(修士課程)は、2007年4月に博士後期課程の設置とともに大学院保健学研究科として独立・部局化しました。こうした歩みの背景には、少子高齢社会を迎えたわが国における保健医療の担い手の育成及びその教育と研究の基盤整備を行うことが、喫緊の課題として顕在化した

ことがあります。一方、保健・医療分野では、遺伝子医療や再生医療の進展にみられるように細分化や融合化が進む中、生活習慣病の対策や在宅介護サービスの整備が進められるとともに、生活の質を重視した健康観が求められています。

弘前大学医学部保健学科は、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を有し、5学部から構成される総合大学の一翼を担い、人

材育成の目標を掲げ、社会の要請に応えようとしています。学生は保健学科、医学科、附属病院が同じキャンパスにあるという良好な環境で、幅広い教養と専門的知識・技術を修得し、医療スタッフとしての心構え・態度を身につけ、社会に貢献することを期待されています。

保健学科は、保健医療の一端を担いながら社会で活躍してみたい、社会に貢献したいという意欲ある皆さんの入学を心から歓迎します。

医学部保健学科の3つのポリシー [概要]

アドミッション・ポリシー

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- 将来、他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- 向上心と研究心を基に、保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また、医学部保健学科の各専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

看護学専攻

- 人間や生命、健康に関心を持ち、看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- 人間の尊厳を重んじ、人や社会、文化の多様性を認め、人と良好な関係を築くことができる人

放射線技術科学専攻

- 診療放射線技師専門職となるための学修に必要な学力を有し、特に理系の科目をしっかりと履修した人

- チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り、他の医療技術者と互いに協力し合い、より良い医療を提供するための行動力のある人
- 医療を安全に行う能力を有し、生涯にわたり向上心・探求心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

検査技術科学専攻

- 医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち、鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 自然科学、保健医療、臨床検査に強い関心を持ち、検査職をとおして人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

理学療法学専攻

- 他者と適切な関係を築きながら、さまざまな人々と協働して、障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- 理学療法士として向上心・研究心をもって保健医療に取り組む、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

作業療法学専攻

- 作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し、対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- チーム医療の一員として、他職種を尊重しながら、作業療法を積極的に実行する意欲のある人

カリキュラム・ポリシー

医学部保健学科では、高度の医療技術はもとより、豊かな人間性と倫理性を兼ね備え、国民の健康と福祉に貢献できる保健医療の専門職の育成を目的としたカリキュラムを提供するという観点から、教育課程の編成・実施方針を定めています。

ディプロマ・ポリシー

医学部保健学科では、カリキュラム・ポリシーに基づいて編成された教育課程に沿って保健医療分野における専門知識・技能等を習得するとともに、豊かな人間性と倫理性を兼ね備え、国民の健康と福祉に貢献できる者に対して、看護学専攻は学士(看護学)の学位を、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻は学士(保健学)の学位を授与します。

詳しくは学科のホームページをご覧ください。





看護学専攻

定員
80名

人間の尊厳に基づく看護を目標に、人間を理解し、問題解決へつなげる専門的な実践力を養います。

[学べる領域] 看護学、公衆衛生看護学、助産学、看護教育学 など



放射線技術 科学専攻

定員
40名

基礎から高度な専門技術の応用まで、チーム医療の体験も交えながら実践力を磨きます。

[学べる領域] 人体形態学、画像解剖学、放射線物理学、放射線生物学 など



検査技術 科学専攻

定員
40名

生命現象に関する総合的な理解に基づき、医学・医療における検査の基礎と手法を学びます。多様な医療ニーズに応え、チーム医療を支えるスペシャリストを養成。

[学べる領域] 医用化学、医用物理学、医用生物学、人体機能学、人体病理学 など



理学療法学専攻

定員
20名

体に障害を受けた人に対し、基本動作能力の「回復」「維持」「予防」を目的としたサービスを提供する理学療法士を養成します。

[学べる領域] 人体形態学、人体機能学、リハビリテーション医学、理学療法評価学 など



作業療法学専攻

定員
20名

心や体に障害のある人々に対し、全体的な生活を営む能力の獲得を図れる作業療法士を養成します。

[学べる領域] 人体形態学、人体機能学、リハビリテーション医学、基礎作業学 など



医学部保健学科

学びの スタイル

患者さんの 身体と心に寄り添える 作業療法士になりたい!

医学部 保健学科 作業療法学専攻 3年

千葉由紀乃さん

岩手県立一関第一高等学校出身



オープンキャンパスに参加し この大学で学びたいと実感

小さい頃から医療に携わりたいて思っており、調べているなかで作業療法士という仕事を知りました。弘前大学のオープンキャンパスに参加した際、実際に医療現場で使用する機材や道具について、先輩方がわかりやすい言葉で説明してくれました。この大学に入れば専門的で深い学びができそうだと感じて受験しようと思いました。

患者さんのQOL(生活の質)を 向上させるために

研究室では、病气やけがで利き手が使えなくなり、箸が持てない、文字が書けないという方が利き手を交換するにあたり、作業療法士はどのようにアプローチしていけばよいのか学びたいと思っています。作業療法士の仕事は、身体領域だけではなく精神面をサポートしたり、地域で介護予防の取組みを行なうなど多方面の領域にわたるため、やりがいをもって取り組める仕事だと思います。



全国から注目が集まる 「岩木健康増進プロジェクト」

授業の一環で、医学部の中路重之先生が中心となって行なっている「岩木健康増進プロジェクト」に参加。地域の方と交流しながら、血圧を測るなどのお手伝いをしました。全国に先駆けて最前線の取組みを行なっている大学で学ぶ意義は非常に大きく、私自身も自信につながりました。

津軽三味線の授業にワクワク! 地域に根ざした授業も魅力

教養の授業では、津軽三味線について学びました。休日は、学科の友人とカフェに行くこともあります。キャンパスからは弘前公園も近く、城下町の街並みもきれいです。学生生活を送るには、素晴らしい環境だと思います。



豊富な知識と技能を身につけた 実践能力の高い理学療法士をめざす

理学療法学専攻 吉田研究室

座学だけではなく 実習を通じて実践スキルを磨く

理学療法は、運動療法と、物理療法の2つの治療法から成り立っていますが、研究室では主に物理療法を研究しています。物理療法は、熱や電気、光線などの物理的エネルギーを人体に作用させる治療法です。物理療法により、けがなどに伴う痛みを和らげたり、運動不足や加齢で硬くなっ

た筋肉をほぐしたり、滞った血液の流れを改善することができます。物理療法は運動療法に比べて関わる研究者の数が非常に少なく、未解明の部分が多い分野です。研究室では、学問としての物理療法を少しでも発展させるべく研究に取り組んでいます。

理学療法学を含む医療・医学系の学問は、いわゆる「実学(実生活に役立たせることを目的とした学問)」です。理論と実技をバランス良く学ぶために、座学だけではなく実習を通じた実践能力の向上に重点を置きながら指導を行なっています。



- ①電気刺激による鎮痛効果を確認する実習。
- ②研究室でのミーティング風景。先生と学生の距離が近く、何でも相談できるアットホームな雰囲気。
- ③超音波療法の実習風景。

運動療法と物理療法を併用した 鎮痛効果の研究

医学部 保健学科 理学療法学専攻 4年
工藤 遼太さん
青森県立弘前南高等学校出身

理学療法学専攻は、医学科の学生と同様の「人体解剖実習」を体験できる全国でも希少なコースです。研究室では、物理療法学について勉強しています。運動療法(有酸素運動)と物理療法を併用した時と組み合わせない時では鎮痛効果にどのような影響がでるのかが興味深く、これをテーマに研究を進めています。

未解明の部分が多い物理療法 それだけに可能性を秘めた分野

理学療法学専攻
吉田 英樹 准教授

医学部保健学科は、保健学系の学科としては全国的にも稀な5つの専攻を有し、最大規模の体制を誇ります。医療専門職をめざす学生にとって、視野を広げ人間的に成長するうえで最適な場所です。物理療法は、未解明の部分が多いだけに多くの可能性を秘めた研究領域です。ぜひ、私たちと一緒に研究してみませんか。



現代における多様なこころの問題を理解し、 適切な支援ができる実践力を身に付けた人材を育成します。

近年、急速な社会構造の変化、複雑化に伴い、こころの支援を必要とする方が、子どもから高齢者に至るまで各年齢層において増加しています。こころの支援が求められる諸問題としては、うつ病に代表されるような精神疾患、自閉スペクトラム症や注意欠如多動症に代表されるような神経発達症、不登校やいじめ・非行・自殺などの児童思春期における問題、子どもや高齢者に対する虐待、育児や介護、仕事に対するストレス、高齢化が指摘されているひきこもり問

題、自然災害や犯罪被害後に生じる心的外傷後ストレス障害(PTSD)等、多岐にわたります。

これらの課題を解決していくためには、保健医療、教育、福祉、司法・矯正、産業・労働等、それぞれの領域における単一領域における支援だけでなく、各領域における専門職が綿密に連携し、切れ目のない支援を行っていくことが求められています。

このような中で、各領域における専門職の有機的な連携の促進や、高度な心理的支援の提

供、心の健康に関する知識の普及を以て、国民の心の健康の保持増進に寄与することを目的に平成30年度から新たな国家資格『公認心理師』が誕生しました。弘前大学では、このような多職種・多領域にわたる心理的支援の要となる心理支援専門職の養成を地域に根ざす大学の責務と考え、令和2年4月に医学部の3番目の学科として、公認心理師養成を想定した学士課程『心理支援科学科』を設置します。

医学部心理支援科学科の3つのポリシー[概要]

アドミッション・ポリシー

医学部心理支援科学科では、科学的思考力を有し、こころの問題を感受し、その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し、悩める人に寄り添い、心理支援職としての役割をとおして地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する地域のリーダーとなる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 心理支援職としての知識と技術を修得するのに必要な基礎学力
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援活動を実践するための行動力
- 社会問題や地域の動向に関心をもち、心理支援職として社会に貢献する強い意欲

カリキュラム・ポリシー

教養教育科目について

- 国際状況や地域状況を的確に見極める力
- 地域の課題を発見・解決する力

専門教育科目について

- 地域で活躍できる心理支援職としての資質
- 公認心理師の国家試験受験資格を満たすために必要な科目

医学部心理支援科学科において修得させる能力等

- 基本的な医学及び保健医療の知識及び技能
- 専門的な心理学及び臨床心理学の知識及び技能
- 地域において適切な心理支援ができる実践力
- 福祉領域、教育領域、司法・犯罪領域及び産業・労働領域の基本的知識
- 心理支援職としての責任感と倫理観を身に付けた実践力

ディプロマ・ポリシー

■教養教育と専門教育を通して培った幅広い専門的な知識、心理学的支援の根幹となる心理学及び主要領域である医学・保健医療の基本的な知識・技術をもとに、地域が抱える心理学的課題の動向を見通す力を身に付けていること

■心理学を中心とした専門的知識・技術を、医学・保健医療分野をはじめとする諸分野で活かすことにより、支援を必要とする者及び地域が抱える心理学的課題を解決する力をもっていること

■心理学に基づく支援方法及び医学・保健医療の基本的な知識・技術等を修得し、社会貢献を意識して、生涯にわたり自分自身を成長させていくための探求力を身に付けていること

詳しくは学部のホームページをご覧ください。



医学部心理支援科学科

保健医療、教育、福祉、司法・矯正等、様々な領域で活動する心理支援職としての知識・技能と心構えを身に付けます。



教育課程

学年	1年次	2年次	3年次	4年次	学位
教養教育科目	▶				学士(心理学)
専門教育科目(専門基礎科目)	▶				
専門教育科目(専門応用科目)			▶		
専門教育科目(専門応用科目・実践系)		▶	▶		
卒業研究			▶		

卒業後の進路

卒業後の進路は、心理支援科学科が公認心理師の国家資格取得を目指しているため、心理系の大学院進学を主要な進路として想定しています。また、就職先における必要な資格として公認心理師を要件としているところが多いことから、公認心理師の資格を得ることで、心理支援職に就職できる範囲が広がると考えています。このほか、認定心理士(学会認定資格)、児童指導員(任用資格)、心理判定員(任用資格)などの心理支援職に関する資格を取得することで、医療機関を中心としながら、教育機関などにおける心理支援職に就くことも想定しています。

総合大学のなかに位置づけられる意義 東北・北海道の国立大学では初開設

弘前大学の歴史を振り返ると、かつて教育学部に心理学科が設置されていた時代がありました。「子どものこころの発達研究センター」は、東北地区の子どもに対する支援体制の整備や、研究拠点づくりをめざして2014年4月に設置されました。その後、弘前大学医学部と教育学部が協力して短命県返上などを目的とした中南地区連携推進協議会が発足し、本センターは、インクルーシブ教育システム構築推進事業に関わり、医療・心理学的な視点から学校現場での支援を行ってきました。このたび開設した心理支援科学科では、本センターで培った子どもの心に関する研究成果も生かしながら、教育学部時代の心理学科の流れから、さらに幅の広い「コ・メディカル」へと飛躍・展開していきます。

国立大学として、公認心理師を養成する学科を開設するのは、東北・

北海道地方では初めてです。総合大学のなかに位置づけられる意義は大変大きく、医学部に併設された附属病院において、充実した実習が受けられるのも強みです。心理支援科学科の教員は、本センターに勤務していたスタッフを含む精神科医2名、心理学を専門とする教員6名の計8名で構成され、現場の臨床に加え研究面でも充実した指導を受けることができます。公認心理師は、専門家として人と向き合い、課題の解決を援助する仕事。目の前の人に真摯に向き合うことは、自分自身に向き合うことにつながっていきます。



医学部 心理支援科学科長
栗林理人 教授

安全・安心な持続可能社会を目指して、 グローバル社会へ向けた理工系人材を育成します。

理工学部は、基礎と応用、理学と工学の調和した全国的に見てもユニークな理工融合学部です。時代の変化や科学技術の急激な展開に柔軟に対応し、安全・安心で持続可能な社会、グローバル社会を実現するためには、物事の本質をとらえる力とその物事を技術に応用する力、すなわち理学と工学の融合が欠かせません。理工学部には、純粋理学から応用科学まで幅広く学べる教育環境があります。

理工学部には数物科学科、物質創成化学科、地球環境防災学科、電子情報工学科、機械科学科、自然エネルギー学科の6つの学科があり、

激しく変化する現代社会に対応できる幅広い視野と理工学分野に不可欠な基礎学力とを同時に習得できるよう、実験・演習に重点が置かれた専門基礎教育を重視した教育カリキュラムを受講することができます。理工学部の教育課程は、教養教育科目と専門教育科目から成り、それらの授業科目には必修科目・選択科目に分けられた講義、演習、実験、及び研究があります。また、いくつかの学科に共通の専門教育科目を設定し、学科の垣根をできるだけ低くする工夫により幅広いバックグラウンドをもった専門家の育成を目指しています。

いずれの学科で学ぶ場合も、問題や課題を見いだす力、解決する力、学び続ける力を身につけるためには高等学校における学習内容は重要です。数学の勉強によって培われる論理的思考力、理科（物理、化学、地学等）の勉強によって培われる自然科学に関する基礎知識、国語や外国語の勉強によって培われる表現やコミュニケーションの能力を身につけておくことが必要です。それら基礎となることから活かし、是非様々なものを見聞きして経験して、共通認識の元となる多角的視野を弘前大学理工学部で共に養っていきましょう。

理工学部の3つのポリシー【概要】

アドミッション・ポリシー

数物科学科

- (数学型)数理科学への強い興味を持ち、数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- (物理型)自然の基本原理に興味を持ち、物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

物質創成化学科

- 化学物質の構造や化学反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち、化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

地球環境防災学科

- 宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人

電子情報工学科

- 電子回路、電子材料、コンピュータとソフトウェア、通信ネットワーク、セキュリティ、組み込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

機械科学科

- 医用・福祉・環境・エネルギー、航空宇宙、輸送機械、ロボット、AI、ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

自然エネルギー学科

- 自然や人間社会に深い興味を持ち、自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

カリキュラム・ポリシー

教養教育

- 幅広い教養と外国語の運用能力を身に付け、変化の激しい現代社会の情勢や地域の課題を的確に見極める力を養います。
- 基礎ゼミナール等の実践的学習をとおして国際社会や地域社会の多様性を認識するとともに、人間や社会に共通する課題を発見・解決する力を養います。

専門教育

- 自然科学を礎として、理工学の諸分野の専門知識・技能を獲得するとともに、自然科学への洞察を深化させ探究心を身に付けることで、変化の激しい科学・技術や社会の問題を分析し、課題を見通す力を養います。
- 科学・技術の課題に挑戦し発信する力、国際社会や地域社会が直面する科学・技術の課題の解決に役立つ応用力・実践力を、演習・実験や卒業研究をとおして養います。
- 自己管理能力、協調性、コミュニケーション能力を養い、社会の一員としての自覚を培うとともに、専門家としての見識と職業倫理を養います。
- 探究心を身に付け、人類の福祉に貢献するために、常に学びつづける力を養います。

ディプロマ・ポリシー

- 教養教育と専門教育をとおして培った幅広い見識と高度な知識・技能等をもとに、自然科学の本質を深く理解し、理工学と社会の動向を見通す力を修得していること
- 習得した専門知識・技能等を実践の場に活かすことによって、現代社会が直面するさまざまな課題を解決していく力を修得していること
- 自然科学と理工学に対する深い認識と探究心をもって、生涯にわたって自らを成長させていくための力を修得していること

詳しくは学部のホームページをご覧ください。





数物科学科

数学と物理の基礎領域を軸に、現代の課題を解決する数理的及び物理的な手法、地域発イノベーションの核となる柔軟な応用力、さまざまな社会現象を計算科学的に処理できる能力を身につけます。

定員
78名

数理科学 コース

数学の基礎理論を体系的に学ぶとともに、自然系や社会系の応用を視野に入れた数理モデル解析の演習科目等に取り組みます。

[学べる領域] 代数学、幾何学、解析学、最適化理論、離散数学、ゲーム理論 など

物質宇宙物理学 コース

機能性新材料分野と宇宙物理学分野を中心に、基礎的な自然法則に対する興味を喚起し、その応用展開への道筋の理解を進めるための教育を行います。

[学べる領域] 半導体物理学、超伝導物理学、宇宙物理学、結晶材料制御学、放射光科学 など

応用計算科学 コース

数学、物理学、情報科学の基礎を学び、それらを社会現象のモデルに当てはめ、複雑な問題を解決するための能力の修得を目指します。

[学べる領域] 応用計算数学、計算機演習、データサイエンス、数理経済学、情報セキュリティ など



物質創成化学科

化学の知識と応用力を体系的に習得し、機能性物質の開発、環境調和を指向した機能性材料、リサイクル技術、省エネルギー・省資源技術の研究開発に貢献できる人材の開発を目指します。

定員
52名

物質創成化学科

化学に関する基礎学力を養成しながら、専門性の深化も図れるように、有機・無機材料創成化学およびエネルギー機能創成化学の2領域の選択科目を充実させ、将来のビジョンに沿った科目履修を可能にします。

[学べる領域]

有機・無機材料創成化学領域

元素化学、有機合成化学、高分子合成化学、錯体化学、有機スベクトル解析学、有機反応化学、生物有機化学、応用無機化学、応用分析化学 など

エネルギー機能創成化学領域

応用物理学、機器分析化学、触媒化学、分離分析化学、エネルギー化学、光化学、分子分光学、環境化学、機能材料化学、固体化学 など



地球環境 防災学科

地球の自然環境をさまざまな空間・時間スケールにおいて理解し、地球環境や自然災害などの重要な問題について、多面的かつ柔軟に取り組むことができる人材を育成します。

定員
65名

地球環境防災学科

地球を取り巻く宇宙空間、生活に深く関る大気や水、構造物を支える大地の構成物質や性質、地球の活動についての理解を深めるとともに、これらを一連のシステムとして捉えることができるような教育研究を実施します。また、地球の環境の理解に基づき、人間の生活を脅かす自然災害の発生メカニズムや、災害を軽減する技術についても教育研究を行います。

[学べる領域]

天文学、宇宙物理学、気候システム学、気象学、環境地球化学、地質学、岩石・鉱物学、地震学、建設構造学、地震工学、自然防災学、火山防災学 など



電子情報工学科

インターネットや公共交通機関などの社会インフラ、家電製品などを支えている組み込み系技術を中心に、IT基盤技術を身につけた実践力のある技術者・研究者を養成し、健康で安心・安全な社会の実現を目指します。

定員
55名

電子情報工学科

電子回路、電子材料、コンピュータハードウェアやプログラミングについての理解にもとづいて電子工学と情報工学の融合と応用を目指し、発展的分野における実践力が身につけられるようにします。特に近年の社会的ニーズに応えるため、組み込みシステムに関するカリキュラムを重視するとともに、グリーン電子材料、情報セキュリティ、生体生命情報学などの先端技術の教育研究も行います。

[学べる領域]

電気回路、電子回路、電気・電子計測、電子物性・材料、量子・電子デバイス工学、電子制御工学、グリーン材料・デバイス工学、組み込みシステム、通信工学、アルゴリズム、プログラミング、オペレーティングシステム、画像処理、情報セキュリティシステム、生体生命情報学 など



機械科学科

材料、熱、流体そして機械に関する4つの力学を基礎とする機械工学に立脚し、その枠を超えた先端的な科学・技術の分野で活躍できる研究者、技術者の育成を目指します。

定員
80名

知能システム コース

機械工学の基礎を修得した後、機械と情報の工学を融合させ、より優れた知能機械を生み出すことが可能な柔軟な思考力と豊かな創造性、そして国際的に活躍できる感性を育みます。

[学べる領域] 機械力学、流体力学、メカトロニクス、制御工学、ロボット工学、知能科学設計・実験 など

医用システム コース

機械工学の基礎を修得した後、人の健康と機械をつなぐ新しい科学・技術を生み出すことが可能な広く多様な視野と豊かな創造性、そして世界で活躍できる感性を育みます。

[学べる領域] マイクロ・ナノマシニング、生体情報工学、人間医工学、生体機械工学、ロボット工学、医用科学設計・実験 など



自然エネルギー 学科

地域のニーズおよびエネルギー問題解決のため、人文社会科学や経済学との連携のもとにグローバルな視点から有効な資源を見極める人材の育成を目指します。

定員
30名

自然エネルギー 学科

再生可能な自然エネルギーを基盤とし、化石燃料や原子力等のエネルギー資源の枯渇性と地域に豊富に存在するエネルギー資源の特性を踏まえ、エネルギー変換・貯蔵・利用システム全般の基礎知識を修得します。文理融合教育により、環境とエネルギーの課題に対する、実践的・総合的かつグローバルな視点とローカルな視点に立つ科学的対応能力を養います。

[学べる領域]

自然エネルギー学概論、力学、電磁気学、化学概論、エネルギー化学、エネルギー材料工学、エネルギー変換工学、環境アセスメント概論、自然エネルギー実験・演習、エネルギー貯蔵・輸送論、エネルギーマネジメント論、エネルギー環境経済学 など

理工学部 学びの スタイル

環境問題や自然災害 地球科学について 幅広く学べるのが魅力

理工学部 地球環境防災学科 3年

白川彩乃さん

青森県立青森東高等学校出身



日々の暮らしに関わる「気象学」 日本の災害対策に貢献したい!

子どもの頃から地球現象について興味がありました。地球環境防災学科は、気象や地震、防災、宇宙、地質など、幅広い地球科学を学べるのが魅力です。授業を通して台風や大雨、大雪など気象災害が多い日本で、人々の暮らしに密接に関わる「気象学」に興味を持ちました。現在、気象観測、予報の仕方、日本の天候に影響を及ぼすエルニーニョ現象などについて学んでいます。地球現象に関する知識を身につけ、これからの日本の災害対策に貢献したいと思っています。

学部・学科間の交流が多く 視野が広がります!

弘前大学は、学部横断型の授業もあるので、地域学ゼミナルを通してたくさんの友達ができました。サークル活動もさかんで、私はバスケットボールサークルに所属しています。バスケットは9年間続けてきたので、私にとって欠かすことのできないリフレッシュタイムです。お花見やキャンプなどを通じて、学部・学年を越えた交流ができるのが楽しいですね。ボランティアサークルにも所属しており、市内の小学生が楽しく遊べるような企画をみんなで考えています。



将来は、気象庁で働くのが夢 災害から国民の安全を守りたい

大学で学んだ知識を生かし、将来は、気象庁で働きたいと思っています。災害に結びつく自然現象を把握し、観測データから危険をいち早く察知し、国民の安全を守るのが夢です。今、受験勉強中の高校生の皆さんは、くじけそうになることもあるかと思いますが、努力した自分がきっと背中を押してくれるはず!ぜひ、一緒に学びましょう!!



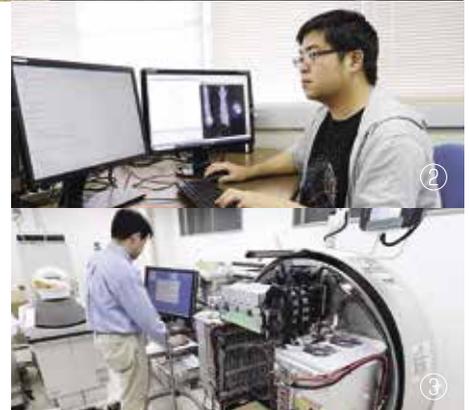
明日の医療に躍進をもたらす 社会貢献度の高い研究

医用画像工学研究室

より詳細により正確に！ 画像処理技術で医療を支える

医用画像診断装置は、現在の医療において欠かすことができないものです。特に、体を切らずに放射線とコンピュータを使って体の輪切り画像を作るコンピュータ断層撮像法(CT)は、病気の診断にきわめて有効です。

研究室では、生体内の形態情報や機能情報を高精度、高解像度で観察するためのCT装置と、画像再構成・画像処理プログラムを開発しています。これらの開発によって、臨床では病気の診断や治療の精度の向上、また、前臨床では、創薬や新規治療薬の開発が加速します。このように、電子情報工学の技術は、画像診断の分野を支え、医療に大きく貢献しています。実際に自分が開発した装置や画像処理技術により画質が改善されることで、診断能力が向上したり患者さんの負担が軽減されるため、大きな達成感を得ることができます。



①研究室でのディスカッション風景。“積極的に行動し、積極的に失敗すること”が財産になるとアドバイス。
②プログラミングの様子。
③開発中の超高解像度SPECT装置(弘前大学アイントープ総合実験室)。

自分の技術で未来の医療に 貢献できる喜び

電子情報工学科 4年
小野友寛さん
北海道札幌北高等学校出身

この研究の醍醐味は、自分の技術によって医療に貢献できること。ソフトウェア開発も単なるコンピュータシミュレーションに終わらず、装置を使った実験で得られた実測データを扱うことで、実践的な問題解決能力が養われます。世界最先端の研究で未来の医療を支えることにやりがいを感じています。

電子情報工学の枠を越え さまざまな分野と共同研究

医用画像工学研究室
銭谷勉 教授

医師や放射線技師などとディスカッションしながら現場のニーズを聞き、医療の最前線で役立つ研究ができるのが魅力です。学外の研究機関との共同研究も多く、豊富な経験を積むことができます。医用画像処理にもAI技術が導入されつつあり、今後ますます発展していく領域です。



食に関する基本的な知識と科学的な視点を身につけ、 食品関連産業等でグローバルに活躍する人材を育てます。

弘前大学農学生命科学部は、5つの学科から構成されており、基礎科学の生物学から応用科学の農学、経済、工学まで学べる日本で唯一の学部です。本学部では、白神山地、八甲田山系を有する青森の豊かな自然環境を舞台に、生物の多様な生命現象のしくみを解明するための学際的、総合的能力を身につけることに力を入れています。応用科学の面では、生物資源の開発・利用を図るため、環境調和型の農学やバイオテクノロジーについても様々な角度から学ぶことができる教育プログラムを準備しています。さらに、2016年度には、青森の豊富な自然

と食資源を生かすつ学部の機能強化をはかるため、「食」と「国際化(グローバル化)」というキーワードを軸に、食に関する基本的な知識と国際化に関する科学的な視点を養う教育プログラムを大幅に強化しました。本学部では、このような教育体制で、農学と生命科学分野の専門的な知識を身につけた人材および、豊かな人間性を身につけ、創造性と主体性を持ってグローバルに活躍できる次世代を担う人材の育成を目指しています。

我々は、青森県の大自然をフィールドとして、様々な生物が示す多彩な現象や生命の不思議

を、分子・細胞・個体・集団といった各レベルで理解するための研究に取り組み、生物の多様性、自然保護、生命のしくみについて探求しています。本地域の大自然には未利用の生物資源が多くあり、たとえば白神山地の微生物を発酵技術に応用、また微生物が生産する有用医薬品の元となる成分等を精力的に探索しています。さらに、本地域が農業生産の盛んな地域であることから、実践に即した園芸、育種、畜産といった農業生産分野や、農業構造物、農地の整備といった生産基盤分野を、大学周辺で学ぶことができるのは本学部の特徴です。

農学生命科学部の3つのポリシー【概要】

アドミッション・ポリシー

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身に付け、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力(高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学)
- 農学および生命科学をとおして国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

生物学科

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたるさまざまな基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

分子生命科学科

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業(例えば、医薬品、食品、化学工業など)および学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象のしくみや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

食料資源学科

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に進めることができる行動力を持つ人
- 学びの中からさまざまな課題を自ら見出し、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

国際園芸農学科

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

地域環境工学科

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的に継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

カリキュラム・ポリシー

農学生命科学部は、農学および生命科学教育をとおして課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者を養うカリキュラムを提供するという観点から、教育課程の編成・実施方針を定めています。(学科毎の方針は学部のホームページをご覧ください。)

ディプロマ・ポリシー

農学生命科学部は、農学及び生命科学教育の専門的知識を修得し、国際化の中で刻一刻と変化する農業・食産業分野、生命科学分野における技術革新に対応し活躍できる能力および高い生命倫理、職業倫理を併せ持つ専門技術者としての力を身に付けた者に対して、学士(農学生命科学)の学位を授与します。(学科毎の方針は学部のホームページをご覧ください。)

詳しくは学部のホームページをご覧ください。





生物学科

生物の多様な生命現象の研究に打ち込める北東北で唯一の生物学科です。研究者の養成はもとより、理科教育・環境行政・農林水産業の発展を担う「生き物を科学的に見る目を持った」人材の育成に努めます。

定員
40名

基礎生物学 コース

動植物、菌類、細胞が示す多彩な現象を、分子・細胞・個体・集団の各レベルで理解するための研究に取り組み、生物のしくみを探究します。
[学べる領域] 細胞生物学、発生生物学、分子生物学、動物・植物生理学、分子進化学 など

生態環境 コース

フィールドワークを通して、生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムや、自然環境の保全に関する研究を行うとともに、さまざまな生物と人間が共生できる環境について学びます。
[学べる領域] 動物・植物生態学、森林生態学、動物行動学、進化生物学、保全生態学など



分子生命科学科

分子レベル・細胞レベルで生命現象を解明し、新規薬剤の開発、生物由来の資源開発を通して新しい生命観、新しい科学技術を創り出します。

定員
40名

生命科学 コース

「生命の本質の解明」および「新しい生命現象・生命機能の発見・解明」を対象とし「生体分子」から「遺伝子」さらに「細胞」・「個体」に至るまでの幅広いレベルで追究していきます。
[学べる領域] 生化学、生物有機化学、細胞生物学、動物生理学 など

応用生命 コース

微生物から動物にいたるまでのさまざまな生物が示す生命現象を人々の暮らしに役立てるために、バイオマス等、次世代の有効資源利用・資源開発に関する研究を行います。
[学べる領域] 生物化学、酵素化学、応用微生物学、微生物生態学 など



食料資源学科

バイオテクノロジーによる食料資源の開発や改良、食品の機能性評価や食の安全性に関わる技術の開発、環境に調和した食料資源の生産に関わる技術の開発などに取り組みます。

定員
55名

食料バイオ テクノロジー コース

高度なバイオテクノロジーを駆使して、温暖化など気候変動に対応する新世代作物などの開発を目標に教育研究に取り組みます。
[学べる領域] 環境植物学、作物ゲノム学、作物育種学、植物遺伝育種学、微生物遺伝学 など

食品科学 コース

食品開発における付加価値向上に寄与することを目標に、食品のおいしさ、安全性、機能性について様々な角度から研究を行います。
[学べる領域] 食品機能科学、食品物性学、食品安全生理学、食品保蔵学、食品衛生学、食品化学物質安全学、食品製造・加工学、分子栄養学、食品栄養学 など

食料生産環境 コース

作物の生育環境を保全する技術について教育研究を行い、安定的・持続的な食料生産に貢献できる人材の育成を目指します。
[学べる領域] 土壌学、植物病理学、応用昆虫学、昆虫生理学 など



国際園芸農学科

海外研修などを通して世界の食料生産や流通について学びます。世界で行われている農業生産領域や食と農業をめぐる課題を多面的・総合的・実学的・国際的に把握できる人材を育成します。

定員
50名

園芸農学 コース

世界をリードできる食料生産に関する知識と技術を学び、国際的にも活躍できる能力を身につけます。
[学べる領域] 果樹園芸学、非破壊品質評価論、国際作物生産論、地域ブランド農産物論、蔬菜園芸学、動物生産学、生産機械学、花卉園芸学 など

食農経済 コース

海外にも負けない、これからの日本の農業経営・流通について学びます。
[学べる領域] 国際食品マーケティング論、農産物貿易論、地域ブランド農産物論、協同組合論、国際農業開発論、国際フードビジネス論、農業政策論、食品産業論、農業経営学、農村社会学 など

※国際園芸農学科では、2年次に1週間程度の「海外研修入門（必修）」を行います（往復旅費、宿泊料等は大学が負担）。



地域環境工学科

弘前大学で唯一の土木系学科です。工学的な視点で農地、水路、ダムなどについて学び、農学的な視点で農山村環境に生かします。

定員
30名

農山村環境 コース

農業土木を基礎としながら、地域の生態系、社会・経済といった広い視野から農村・山間地の将来の環境を考えられる人材を育成します。
[学べる領域] 農業水利学、環境水利学、農地環境工学、水利造構学、農業情報学、山地流域保全学、農村計画学、保全生態学、農業政策論 など

農業土木 コース

実践的な農業土木技術者を育てます。日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定を受けた教育プログラムなので、本コース修了により修習技術者の資格が得られ、技術士への近道となります。
[学べる領域] 農業水利学、環境水利学、農地環境工学、水利造構学、農業情報学、山地流域保全学、農村計画学 など



農学生命科学部
学びの
スタイル

健康と食産業を支える
青森の食材の
ポテンシャルに挑む!

農学生命科学部 食料資源学科 3年

佐藤 寛子さん

青森県立弘前中央高等学校出身



こんな分野があるんだ!
HPで知った研究に惹かれ

小さい頃から食に興味があり、高校2年の時、弘前大学のホームページで食料資源学科の食品科学コースを知りました。今まで自分が知らなかった食に関する分野がたくさんあることに魅力を感じ、この学科で学んでみたいと思いました。

青森の食材の機能性を解明し
健康と食産業に貢献する研究

研究室では、青森県の食材に含まれる健康増進に有益な成分を解明し、食品開発に生かすなど、人々の健康や食産業に貢献することを目的とした研究を行なっています。私は、りんごの「ふじ」発祥の地・藤崎町出身ということもあり、りんごを研究対象に選びました。現在、八戸の企業とコラボして、「紅の夢」を使った加工食品の研究に取り組んでいます。「紅の夢」は、弘前大学農学生命科学部附属藤崎農場で誕生した果肉まで赤い新品種のリんごです。青森県の強みといえば、やはり、りんご!りんごの機能性を解明し、青森県の強みをさらに高めていきたいと思っています。



地域に根ざしたカリキュラムは
弘前大学ならではの魅力!

弘前大学の魅力のひとつは、1年生の頃から地域について学ぶ機会がたくさんあること。地域学ゼミナルでは、地域の課題に向き合い、解決策を考えました。私の学科では体験できないと思っていた農業実習にも参加。藤崎農場ではじゃがいも掘り、金木農場では羊の毛刈りを体験しました。地域の小学生と遊ぶボランティアサークルの活動も楽しんでいます。やる気さえあれば、多くの体験と知識を得られるのが弘前大学の魅力。私たちと一緒に学びませんか。



ホヤがもつ「生きるしくみ」を研究 脊椎動物の進化の歴史に迫る!

動物生理学研究室

教員や先輩たちと 活発なディスカッションを!

私たちは「ホヤ」が生きるしくみを研究しています。動物は、5億年以上前に海の中で生まれ、さまざまな系統に分かれて進化してきました。私たちヒトを含む背骨がある動物—脊椎動物はいかに生まれ、進化してきたのでしょうか。実は、その「脊椎

動物に一番近い親戚の動物”が、ホヤとその仲間の系統だということが近年、確定されました。私たちは、ホヤがもつ「生きるしくみ」をつぶさに調べ、脊椎動物の特徴と比べることで、我々のご先祖様の進化に迫ろうとしています。

研究室の学生には、教員や先輩とよくディスカッションすること、自分の研究主題になる現象をよく観察すること、実験を繰り返して、たくさん失敗してそのうえで見つけたことを大事にしてほしいと伝えています。こうして身につけたことは一生モノの価値になると信じています。



①ホヤの細胞を顕微鏡で観察し、筋肉の活動を計測する。
②研究室で培養したエサをホヤやホタテに与える。
③海洋生物の体の中の構造を詳細に観察する。

大学院に進学し さらに研究を深めたい

生物学科 4年
西野将智さん
市立札幌新川高等学校出身

研究室では、マボヤやその仲間の持つ被囊とオタマボヤの持つハウスと呼ばれる構造について研究しています。毎週ミーティングの時間があり、先生や先輩たちとディスカッションすることでたくさんの気づきがあります。卒業後は、大学院に進学予定。自分の研究テーマをさらに深めたいと思っています。

科学の歴史を塗り替える 世界最前線の研究も

生物学科
西野敦雄 准教授

弘前大学の生物学科には、国内外のどんな大学の生物学科にも勝るとも劣らない優れた教員陣がそろっています。地域の問題の解決にも、世界のフロンティアにある科学研究にも取り組んでおり、注目されています。恵まれた環境のなか、知識も技能もトータルに身につけることができます。





大学院

人文社会科学 研究科

修士課程

人文社会科学の深奥を究める

人文社会科学研究科<修士課程>は、人文社会科学専攻をもつ研究科です。3つのコースからなり、それぞれのコースに専門性の高い研究指導分野を設置しています。

- 文化芸術コース…文化財論、日本語・日本文学、思想・芸術科学
 - 現代共生コース…言語科学、歴史地域学、国際地域論、現代法政論
 - 政策科学コース…経済・統計分析、政策評価、会計情報
- 現代は、変化と可能性に富んだ「グローバル化と共生の時

代」です。現象や物事を根本から研究して考え抜くこと、最新研究を領域横断的に俯瞰して課題を広くとらえること、両方が求められています。こうした現代の社会的要請に対応するため、本研究科は、領域横断的な教育を含む、独自の特色あるカリキュラムを設定しています。人文社会科学のほぼ全分野を網羅する教員構成も魅力です。学部卒業後のみなさんが「人文社会科学の深奥を究める」ための、最良の場になっています。

[専 攻] 人文社会科学専攻

教育学 研究科

専門職学位課程

より深く実践的な学びで高度な専門職としての教員の養成

教育学研究科教職実践専攻(専門職学位課程)は、理論と実践との往還・融合を通じた省察をもとに、青森県及び日本全体が直面している教育課題の解決を目指した教育実践を創造できる高度な専門職としての教員養成を目指す課程です。教員に求められる「協働力・自律的発展力・課題探究力・省察力」といった4つの力を養成するカリキュラムとなっています。現職教員の「ミドルリーダー養成コー

ス」、学部卒学生の「学校教育実践コース」「教科領域実践コース」「特別支援教育実践コース」の4コースがあります。授業では現職教員と学部卒学生の共学の場も多く、現場経験豊富な教員と研究者教員の協働による授業展開となっています。教員としての高度な専門性を修得することのできる場です。

[専 攻] 教職実践専攻

医学 研究科

博士課程

先端的な医学研究で国際的に活躍また地域社会に貢献

医学研究科は、1専攻(医科学専攻)の中に9領域(分子遺伝情報科学、脳神経科学、腫瘍制御科学、循環病態科学、機能再生・再生科学、総合医療・健康科学、感覚統合科学、病態制御科学、成育科学)、さらに領域の中に108教育研究分野を設置し、幅広い専門性に対応できるようにしています。先端的な医学研究で国際的に活躍できる人、また、

地域社会に貢献できる人を養成するため、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としています。そのためには、研究者として自立して研究活動を行い、その他の高度に専門的な業務に従事するのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養います。

[専 攻] 医科学専攻

保健学 研究科

博士前期課程

問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積するとともに、実践の場でリーダーシップを発揮し指導的役割を果たすことのできる“メディカルスタッフ”の育成を目的としています。また、緊急被ばく

医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース、「被ばく医療における看護」「医用放射線利用に伴う看護」を専門とする看護師を養成する放射線看護高度看護実践コースを設置しています。

[専 攻] 保健学専攻

保健学 研究科

博士後期課程

独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を

身につけた教育・研究者を育成することを目的とします。また、博士前期課程での被ばく医療教育に加えて、被ばく医療を支えるより高度な教育・研究者を育成する被ばく医療コースを設置しています。

[専 攻] 保健学専攻

理工学 研究科

博士前期課程

理工融合を特徴とする高度専門教育

理学と工学の学際性を重視した教育研究を通して、科学・技術の高度化に順応し得る以下の人材を養成します。

- 数物科学コース
科学技術の礎となる数学や物理学の専門知識を身につけ、自然・科学現象のメカニズムを解明し直面する問題の解決や、新しい概念を創り出す能力を持つ人材
- 物質創成化学コース
化学の諸分野の素養と新たな機能性材料の創成などに関する専門知識と学際的センスを持つ人材
- 地球環境防災学コース
地球と宇宙の科学研究、および、地球科学を通して地球環

境、自然防災等の問題に取り組む人材

- 電子情報工学コース
電子情報工学分野の高度な学識を身につけ、技術革新をリードする能力を持つ人材
- 機械科学コース
機械を用いた自然、社会そして人を支える革新的な科学・技術を生み出すことが可能な広い視野と深く柔軟な思考力そして優れた実行力を有する人材
- 自然エネルギー学コース
広い観点からエネルギー問題を俯瞰し、エネルギーシステムの構築に貢献する能力を持つ人材

[専 攻] 理工学専攻

理工学 研究科

博士後期課程

未来を切り開く高度専門技術の創造

理学と工学の融合による基礎と応用の一体化を展開し、学際的課題を解決し得る教育研究を行い、目覚ましい進展を遂げる科学技術に柔軟に対応できる高度専門職業人及び研究者を養成します。

- 機能創成科学専攻…現代の技術革新を支える新機能・高付加価値材料の創成と、その高機能デバイスの設計・開発を目指して化学的手法を用いる機能材料科学と、物理

的手法を用いる材料プロセス工学の教育研究を行います。これらの教育研究を通して、自立して研究開発ができる研究者や高度専門職業人を養成します。

- 安全システム工学専攻…自然と調和した安全な社会の構築に必要な能力を有し、自然環境の保全、地域社会の安全・安心の向上等に実践的に関わることができる研究者及び高度専門職業人を養成します。

[専 攻] 機能創成科学専攻 安全システム工学専攻

農学生命科学 研究科

修士課程

農学生命科学分野において高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科修士課程では、農学生命科学分野における先端的研究に挑戦する研究者、並びに地域社会の発展に貢献し得る専門知識を身につけた技術者や、地域社会と国際社会をつなぐグローバルに活躍することのできる人材の養成を目指しています。本研究科は、生物学、分子生命科学、食料資源学、国際園芸農学及び地域環境工学の5つのコースにより構成されています。各コースには、学術研究プログラム(研究者養成)と実践研究プログラム

(専門技術者養成)の2つの教育プログラムが用意されており、学生は進路希望に沿って、専門的知識や技術を学びます。各コース教育により専門性を強化すると同時に、コース横断的な教育の実施により、幅広い科学的視野と国際的視野を持つ、次世代を担う人材育成を目指しています。本研究科は岩手大学大学院連合農学研究科に参加しており、博士課程に進学することも可能です。

[専 攻] 農学生命科学専攻

地域社会 研究科

博士後期課程

高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力のある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的とし、2002年度に設置されました。

本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業

研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

[専 攻] 地域社会専攻

地域共創科学 研究科

修士課程

新しい価値を共に創造する

人口減少が進む日本の地方では、コミュニティの維持や産業の発展が困難な状況にあります。この現状を打破するために、大学の専門的な知識と地域社会が持つ実践的な知識を交差させ、新しい価値を共に創造することを「地域共創」と位置づけ、地域共創を科学する研究科を目指します。

- 地域リノベーション専攻…社会学と工学を中心に、地域づくり・防災・自然エネルギーの活用などの専門性を高めつつ、異分野の専門家や地域の専門家と協働し、「地域を守る」という観点から、新たな価値を創造(共創)できる高

い能力を有する「地域社会の未来を切り拓くフロンタナー」を育成します。

- 産業創成科学専攻…農学と経営学を中心に、農水産物の高付加価値化や商品流通などの専門性を高めつつ、異分野の専門家や地域の専門家と協働し、「地域から攻める」という観点から、新たな価値を創造(共創)できる高い能力を有する「地域社会の未来を切り拓くフロンタナー」を育成します。

[専 攻] 地域リノベーション専攻 産業創成科学専攻

岩手大学大学院 連合農学研究科

博士後期課程

国際水準を目指す研究者や高度専門職業人の養成

本研究科は、弘前大学・岩手大学・山形大学の3構成大学で組織された博士後期課程3年だけの独立研究科です。各大学は、それぞれ教育と研究活動の両面において特色を備えています。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育と研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、地域環境創生学に関する先端的・学際的諸研究を推進する

ことです。これらの研究指導を通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものであります。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加している外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じています。

[専 攻] 生物生産科学専攻 生物資源科学専攻 地域環境創生学専攻



就職支援

EMPLOYMENT SUPPORT

自分の適性を知り職業観を培いキャリア意識を高めていく時、身近で頼りになるキャリアセンター。

ひとりひとりの志望が叶うようさまざまな相談に乗ってくれるほか、実践的な就活スキルの指導も受けることができます。

キャリアセンター

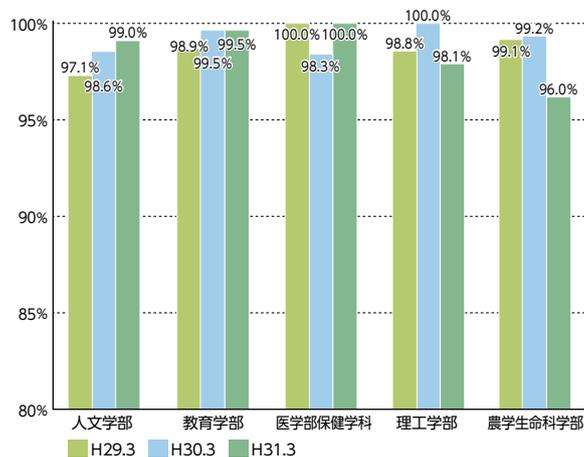
フェイス・トゥ・フェイスが基本です

キャリア指導の経験・実績を積んできた専任スタッフが、学生ひとりひとりの相談や問い合わせに応えます。コミュニケーションを重視。じっくり時間をかけ、対話しながら適切なアドバイスに努めるのがモットーです。さらに模擬面接を行ったり、エントリーシートの書き方を指導したり。また本学へ寄せられる求人票を閲覧できるほか、業界研究・企業研究に関する資料も豊富に揃っています。

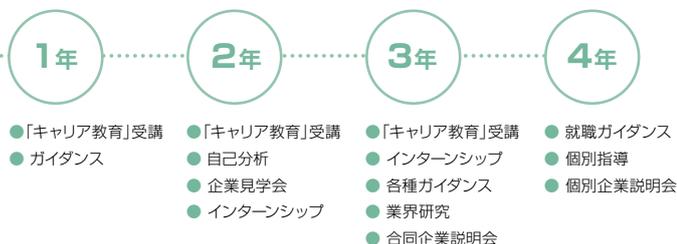


弘大生の就職率

どの学部も、コンスタントに90%台の実績をキープ。本学における人材育成が、さまざまな分野から高く評価されている証です。平成30年度の就職率は、全学で98.7%でした。



進路指導スケジュール



弘前大学の就職支援

キャリア教育

～自らの生き方を見つけ、実現する力を育成する～

本学では、キャリア教育の取組を、社会全体の中での人生の在り方を見つけ、実現するための「生き方教育」と位置付けています。地域の活性化を支える高い教養と幅広い知識を有する社会人として、社会に羽ばたくためのキャリア発達を促します。

就職相談

専任のキャリアアドバイザー3名が、年間を通して相談に対応しています。1年生から利用することができ、未就職既卒者の相談も実施しています。就職活動に向けて何をすればよいのか、採用試験に向けた面接練習やエントリーシートの添削など、さまざまな相談に対応します。



合同企業説明会

ガイダンス・企業説明会

民間企業・公務員・教職といった志望分野別にガイダンスを開催。さらに業界研究を主眼とするガイダンスも、年間を通して多数に及びます。自己分析、志望する分野や企業の絞り込み、履歴書やエントリーシートの書き方など事前準備を経て、大学生の就職活動は3年次の3月から本格化。学内で開催する業界研究会・合同企業説明会も、さまざまな会社を知る機会です。

キャリアセンターホームページ

キャリアセンター主催の就職ガイダンスやセミナーの開催情報など、多岐にわたる就職情報を発信しています。また、先輩たちが就職した企業・団体も公開しています。

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/shushoku/index.html>



インターンシップオリエンテーション

主な就職先 [平成30年度の卒業生]

人文学部

公務員 青森県職員、弘前市職員、北海道職員、札幌市職員、五所川原市職員、函館税関、青森市職員、岩手県職員、東北運輸局、札幌国税局

民間企業等 (株)みちのく銀行、(株)小山内バッテリー社、東奥信用金庫、(株)青森銀行、青い森鉄道(株)、独立行政法人国立病院機構北海道東北グループ、一般財団法人愛成会弘前愛成会病院、日本年金機構、(株)マイナビ、(株)東奥日報社

教員 学校教員(北海道、青森県、神奈川県、千葉県)

教育学部

教員 学校教員(北海道、青森県ほか東北6県、関東地方など)

公務員 青森県職員、弘前市職員、北海道職員、岩手県職員、皇宮警察本部、防衛省・自衛隊、青森市職員、八戸市職員、平川市職員、田舎館村職員

民間企業等 (株)日本保育サービス、(株)ユニバース、(株)仙台進学プラザ、(株)みちのく銀行、(株)業務サポートサービス、(株)陸奥新報社、(株)青森銀行、凸版印刷(株)、(株)カチタス、(株)紀伊屋書店

医学部 保健学科

病院等 弘前大学医学部附属病院、東北大学病院、岩手医科大学附属病院、青森県立中央病院、八戸市立市民病院、北海道大学病院、一般財団法人黎明郷弘前脳卒中・リハビリテーションセンター、自治医科大学附属病院、青森市民病院、公益財団法人岩手県予防医学協会、秋田大学医学部附属病院、公益財団法人八戸市総合健診センター、医療法人深仁会手稲深仁会病院、社会医療法人医仁会中村記念病院、聖路加国際病院、東北医科薬科大学病院、医療法人社団健育会湘南慶育病院、公益財団法人青森県総合健診センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、慶応義塾大学病院、津軽保健生活協同組合健生病院、社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院、横浜市立大学市民総合医療センター、社会福祉法人函館厚生院函館中央病院、公益財団法人シルバーリハビリテーション協会メディカルコート八戸西病院

理工学部

公務員 弘前市職員、青森県職員、札幌市職員、青森県警察、岩手県職員、東北地方整備局、北海道農政事務所、北海道職員、会計検査院、警視庁

民間企業等 弘前航空電子(株)、(株)青森銀行、(株)メイテック、北海道旅客鉄道(株)、東日本電信電話(株)、日本製紙(株)、三菱自動車工業(株)、(株)マイナビ、大和証券(株)、日本航空(株)、地方独立行政法人青森県産業技術センター、(株)みちのく銀行、丸三証券(株)、北海道ガス(株)、北海道電力(株)

教員 学校教員(北海道、青森県、岩手県、千葉県)

農学生命科学部

公務員 北海道職員、青森県職員、宮城県職員、山形県職員、札幌市職員、岩手県職員、青森労働局、北海道開発局、札幌国税局、東北農政局

民間企業等 東北化学薬品(株)、山崎製パン(株)、日本工営(株)、(株)シイエヌエス、(株)青南商事、石屋製菓(株)、東日本旅客鉄道(株)、花王(株)、地方独立行政法人青森県産業技術センター、全国農業協同組合連合会、(株)セコマ、雪印種苗(株)、青森合同青果(株)、太子食品工業(株)、独立行政法人農畜産業振興機構

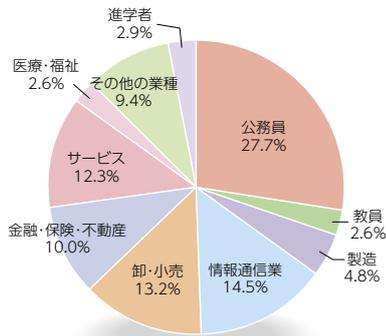
教員 学校教員(北海道)



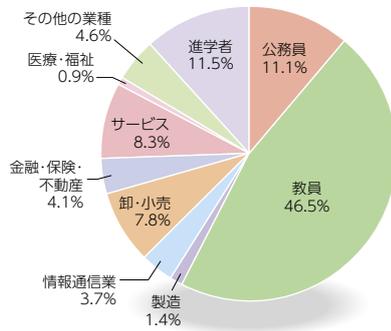
キャリアセンター窓口

進路決定者の内訳 ※平成31年3月卒業者

人文学部



教育学部



医学部医学科

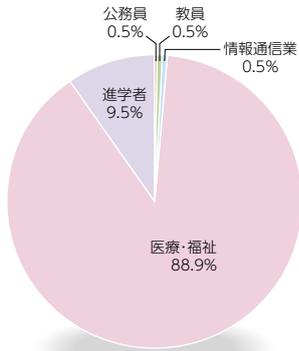


取得できる免許・資格一覧表

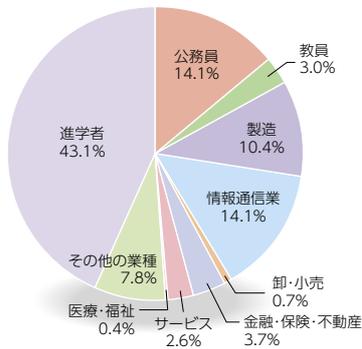
【マークの見方】	取得可能な免許・資格	人文社会科 学部		医学部					理工学部					農学生命科学部						
		文化創生課程	社会経営課程	医学科	保健学科					数物科学科	物質創成化学科	地球環境防災学科	電子情報工学科	機械科学科	自然エネルギー学科	生物学科	分子生命科学科	食料資源学科	国際園芸農学科	地域環境工学科
					看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻											
1 中学校教諭1種免許状	国語	▲																		
	社会	▲	▲																	
	数学								▲											
	理科								▲	▲	▲				▲	▲	▲	▲	▲	
高等学校教諭1種免許状	英語	▲																		
	国語	▲																		
	地理歴史	▲																		
	公民		▲																	
	数学								▲											
	理科								▲	▲	▲				▲	▲	▲	▲	▲	
	看護							▲	人数制限あり											
	情報												▲							
	農業													▲		▲	▲	▲	▲	
	工業													▲						
商業																				
英語	▲																			
学芸員 (任用資格)		▲	▲						▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
社会調査士			▲																	
医師国家試験 (*)				●																
看護師国家試験 (*)					●															
保健師国家試験 (*)					▲															
助産師国家試験 (*)					▲															
診療放射線技師国家試験 (*)						●														
臨床検査技師国家試験 (*)							●													
細胞検査士資格認定試験 (*)								▲	人数制限あり											
食品衛生管理者 (任用資格)																	▲	▲		
食品衛生監視員 (任用資格)																	▲	▲		
理学療法士国家試験 (*)																				
作業療法士国家試験 (*)																				
認定心理士 (学会認定資格)																				
児童指導員 (任用資格)																				
心理判定員 (任用資格)																				
測量士補																			▲	
修習技術者 (技術士補)																			▲	

注) 農業土木コースのみ

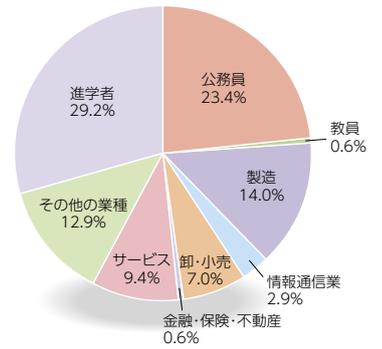
医学部保健学科



理工学部



農学生命科学部



【マークの見方】	教育学部											
	学校教育教員養成課程										養護教諭養成課程	
	初等中等教育専攻											
	小学校コース	中学校コース								特別支援教育専攻		
国語専修		社会専修	数学専修	理科専修	音楽専修	美術専修	保健体育専修	技術専修	家庭科専修			英語専修
小学校教諭1種免許状	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●
中学校教諭1種免許状	国語	●										●
	社会		●									
	数学	▲		●								
	理科				●							
	音楽					●						
	美術						●					
	保健体育							●				
	技術								●			
	家庭科									●		
英語										●		
保健											▲	
高等学校教諭1種免許状	国語	▲										●
	地理歴史		▲									●
	公民		▲									●
	数学			▲								
	理科				●							
	音楽					●						
	美術						▲					
	保健体育							●				
	家庭科									●		
英語										●		
工業											▲	
保健											▲	
養護教諭1種免許状											●	
特別支援学校教諭1種免許状	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●
幼稚園教諭1種免許状	▲											
保育士試験	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
学芸員(任用資格)	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
社会教育主事	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
社会調査士	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

注) 社会科を選択した場合は、中(社会)が●、高(地理歴史、公民)が▲。





留学支援

SUPPORT FOR
STUDY ABROAD



弘前大学国際連携本部
サポートオフィス

専任教員とアドバイザーを務める事務スタッフが本学からの留学、さらに外国人留学生の受け入れを支援します。

<http://www.kokusai.hirosaki-u.ac.jp/>

言葉や文化、もちろん生活のスタイルも日本とは異なる環境をリアルに体感しながら学んでみませんか。

グローバルに見聞を広げたいという意欲に応え、国際連携本部サポートオフィスが留学支援を行っています。

本学は22の国・地域、49校との間で交流協定を結んでいます。

半年または1年間の交換留学プログラム、あるいは春休み・夏休みを利用する語学研修へ向けて準備から出発まで、段階を追って指導します。

留

学

体

験

記



(左手前)

教育学部 学校教育教員養成課程
教科教育専攻英語専修
(現・初等中等教育専攻中学校コース英語専修)

佐藤 伸介 さん

宮城県立仙台西高校出身

留学先／メイン州立大学附属語学センター、
ベルビューカレッジ(アメリカ)

私は1年生の時にアメリカのメイン州に3週間の短期語学留学、3年終了後に1年間休学し、ピタテ留学JAPANの第8期生として同国ワシントン州に長期留学をしました。

私は大学入学時には全く英語を話す力、聴く力がありませんでしたが、短期留学を経験し、日本でも毎日英語に触れることで少しずつ英語力が伸びていきました。長期留学では現地の大学生と授業を受け、最初は全くついていくことができませんでしたが、毎日最前列に座り発言するというルールを自分に課し、英語力や自信ができました。アメリカ留学中には現地企業にて、帰国後はアメリカ企業の日本支社にて働くことができるほど成長しました。

海外に少しでも興味があるなら、ぜひ留学することをおすすめします。なぜなら、大学生の時に留学を通して、自分の知らなかった世界を見て自分の常識を覆された経験や、留学から得た考え方や友人は将来お金で買えるものではないからです。私は留学を決意したことは、人生の中で行った最良の選択の一つだと思っています。今すぐにも留学の情報を調べて、両親や大学の先生に相談してみてください。留学を通して皆さんの大学生活やこれからがより良いものになることを願っています。



(左から3番目)

人文社会科学部 文化創生課程 八木橋 亜未さん

東奥義塾高等学校出身

留学先／慶北大学校(韓国)

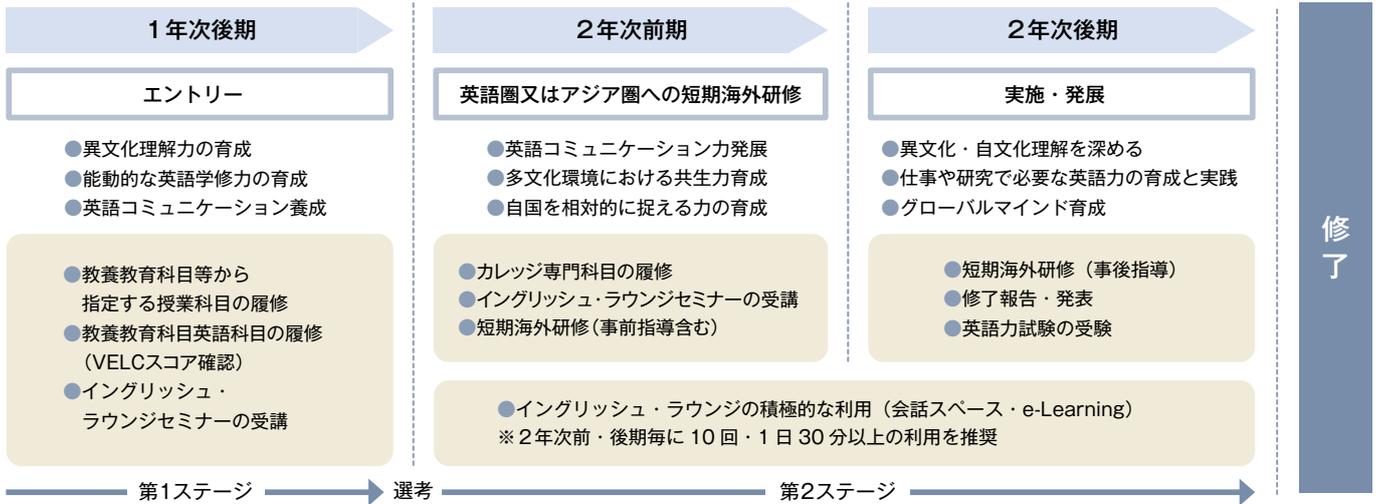
私は約6か月間、韓国の大邱にある慶北大学校に留学しました。留学先では自身の専門であるアメリカ文学に関係する授業や、留学生向けに開講されている英語で韓国の文化を学ぶ授業を受講しました。学期終了後は、語学学校で韓国語を勉強しました。英語で授業を受講するのは慣れるまでに時間がかかりましたし、つらい時もありましたが、一緒に授業を受講していた英語圏からの留学生に助けられました。

生活面では私は学生寮に住みました。ルームメイトは韓国人で、はじめは慣れないこともあって緊張しましたが、私が少し韓国語を話せたということと、相手の方が親切に接してくれたので、寮生活は充実していました。寮の近くにはジムや水泳場があったので、暇なときはそこに行って運動したりもしました。

慶北大学校には世界中からたくさんの留学生が来ています。いろいろな国の人たちと関わっているうちに、自然と言語交換にもなりまし、お互いの国の文化を知ることができて、刺激的な経験になりました。私は今回の留学で、人との出会いや繋がりの大切さを強く感じました。留学中は留学生向けのイベントに積極的に参加して、人と繋がる機会を作ることが大切だと思います。

HIROSAKI はやぶさカレッジ

「HIROSAKI はやぶさカレッジ」とは、英語圏又はアジア圏の短期海外研修、英語による修了報告などを必修としたグローバル人材育成のための1年6か月の特別な教育プログラムです。留学に必要な経費は大学が援助します。



留学Q&A

協定校留学のメリットは？

留学先の大学の授業料の減免制度があります。また、留学先で修得した単位を本学の単位に読み替えることもできます。

留学中は休学になる？

春休み・夏休みの短期留学を除き、留学する場合は「休学願」又は「留学願」の手続きが必要になります。どちらで留学するのかは、学部の先生や教務に相談が必要です。

取扱いの違い	本学の授業料	本学の在学期間
「休学願」で留学した場合	納付不要	「休学期間」は在学期間に算入されない
「留学願」で留学した場合	納付必要	「留学期間」は在学期間に算入される

TOEFLの受験は必要？

英語圏の大学では、TOEFLのスコア基準を設定しています。弘前大学では学内TOEFLを実施していますので、利用してください。また、TOEFL受験料及びTOEIC受験料の支援も行っています。

留学に関する大学間協定校 ※令和元年7月1日現在

アメリカ	●テネシー大学マーチン校 ●メーン州立大学 ●サンディエゴ州立大学 ●ハワイ大学コミュニティカレッジ
カナダ	●サスカチュワン大学 ●マウント・ロイヤル大学 ●トンプソン・リバーズ大学
中国	●哈爾濱師範大学 ●延辺大学 ●鄭州大学 ●大連理工大学 ●新疆工程院 ●青島農業大学 ●太原理工大学 ●瀋陽化工大学* ●中南林業科技大学
台湾	●国立高雄大学 ●開南大学 ●馬偕醫學院 ●国立屏東大学 ●中国文化大学
韓国	●南ソウル大学校 ●慶北大学校 ●釜山大学校 ●京畿大学校
ロシア	●国立極東総合医科大学* ●ロモノソフモスクワ大学* ●イルクーツク大学
ウズベキスタン	●タシュケント州立農科大学 ●サマルカンド農業学院
ハンガリー	●デブレゼン大学
ニュージーランド	●オタゴ大学 ●オークランド工科大学
チリ	●ラ・フロンテラ大学
タイ	●チェンマイ大学 ●コンケン大学 ●タマサート大学
メキシコ	●オアハカ州立自治ベニート・フアレス大学
マレーシア	●トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学
フランス	●ボルドー・モンテーニュ大学
インドネシア	●バンドン工科大学* ●インドネシア原子力庁*
ルーマニア	●ヒッペリオン大学
ドイツ	●トリア大学
ベトナム	●アンザン大学
イタリア	●カタールニア大学 ●アルジェリア ●オラン科学技術大学*
アイルランド	●アイルランド環境保護庁* ●トルクメニスタン ●トルクメニスタン農科大学*

* 印は教育・研究交流のみ

大学間協定校への留学実績

留学先	28年度	29年度	30年度
アメリカ	11	12	7
カナダ	12	3	12
タイ	1	5	5
ドイツ	2	1	3
ニュージーランド	25	38	28
ハンガリー	3	2	0
フランス	5	3	1
チリ	0	0	1
韓国	10	2	4
中国	2	2	2
台湾	5	2	3
メキシコ	2	0	0
総計	78	70	66

イングリッシュ・ラウンジ

【平日】10:00～13:00、14:00～17:00

実践で役立つ英語のリテラシーを、より確かなものに。総合教育棟2階にネイティブスピーカーの教員が常駐しており、アットホームな雰囲気の中でマンツーマン指導やグループ討議を通し、実力アップを図れます。また、基礎英語・TOEIC・TOEFLに関する講座を開設。備え付けのパソコンにはレッスン用ソフトウェアが入っており、思い思いのペースで自学自習に励めます。

生活 支援

LIVELIHOOD
SUPPORT



学費等

● 入学金:282,000円

● 授業料:535,800円(年額)

※入学金・授業料ともに予定額です。在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

※入学金・授業料の他に別途教科書代等が必要になります。学部によって金額は異なりますが、目安として約15,000円から30,000円程度です。

経済支援について

入学金・授業料減免

2020年4月から高等教育の修学支援新制度が開始されます。これにより、将来返還する必要のない「給付型奨学金」の給付対象者が拡充されると同時に、給付型奨学金の受給者は入学金・授業料が減免されます。本学はこの新しい制度の支援対象校に指定されています。なお、本制度の詳細(給付型奨学金の受給者となるための要件等)については日本学生支援機構(JASSO)のホームページで確認してください。(インターネットで「JASSO給付型奨学金」をキーワードにして検索してください。)

入学金減免・授業料減免の申請時期や申請方法などについては、本学ホームページのトップページから「受験生の方へ」→「入学金・授業料免除の申請」と進んでいただきますと確認することができます。

弘前大学独自の支援

岩谷元彰弘前大学育英基金 奨学金給付事業

本学学生の修学に係る支援を目的として設立されました。募集は10月～11月頃に行い、選考により、奨学金20万円の給付対象者を決定しています。

弘前大学基金 トヨペット未来の青森県応援事業

青森トヨペット株式会社からの寄附を元に設立された、2年次以上の青森県出身学生向けの給付奨学金です。応募資格を満たした申請者の中から、選考により奨学金25万円の給付対象者を決定します。

弘前大学生生活支援奨学金

一時的な経済的理由により生活が困難な学生に対し、生活費に充てる奨学金を一人1回10万円を上限として無利子で貸与する制度です。申込みは随時受付しています。

奨学金制度について

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構では学業・人物ともに優秀であって、経済的に修学が困難と認められた学生に奨学金を貸与又は給付する制度があります。詳細は日本学生支援機構ホームページ又は本学ホームページをご覧ください。

その他の奨学金

地方公共団体(都道府県・市町村等)や民間団体等が行う奨学金制度もあります。本学が受付窓口となっている奨学団体は約30団体ありますが、希望する奨学金がある場合は、事前に奨学団体へ直接問い合わせください。



学生寮について

本学には全部で3つの学生寮があり、3寮とも朝夕の食事付きです。(日曜、休日は休食)。
机・椅子・ベッド・本棚・ロッカーは居室に附設しています。

寮名		北溟寮	北鷹寮	朋寮
対象		男子	男子	女子
定員		106人	200人	234人
構造		鉄筋4階建 1人部屋	鉄筋5階建 2人部屋	鉄筋5階建 2人部屋
室数		106室	100室	117室
住所		弘前市緑ヶ丘1-8-4	弘前市学園町1-1	
寮費/月		約4万円	約3万円	
各寮から キャンパスまでの 距離及び所要時間	文京町 キャンパス	距離1.8km (徒歩18分、自転車8分)	距離2.0km (徒歩20分、自転車10分)	
	本町 キャンパス	距離2.1km (徒歩21分、自転車10分)	距離4.5km (徒歩45分、自転車20分)	

※寮費には、寄宿料の他、食費、光熱水料等を含みます。

学生寮に関するお問い合わせ

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 TEL.0172-39-3107

健康管理・相談窓口

保健管理センター

保健管理センターでは全学生の健康診断を行っています。また、常勤医師、看護師、カウンセラーのほか学外のカウンセラーが学生の身体面、精神面のケアにあたっています。

オフィスアワー

本学では、学長を含むすべての教員がオフィスアワーを設けています。各教員が時間帯を決めて、学生からの履修相談や進路相談などについて学生と一緒に考えます。

学生担任制度

学生の大学生生活の支援を強化する目的で「学生担任制度」を導入しています。各学部では、担任教員を配置して学生が気軽に相談できる体制を整えています。

学生相談担当

履修、進路、授業料免除、奨学金など、授業や学生生活に関することのほか、「どこへ聞いたらよいか分からないこと」などの総合相談窓口です。相談内容によって、より適任な部署を紹介するなど、できるだけ早く問題解決ができるように対応しています。

学生特別支援室

障害等による修学・生活上の困難に関する相談に応じ、よりよい学生生活を送ることができるように支援しています。

弘大生の1日



僕は「新学期.COM」という新学期に新入生のサポートをするサークルに入っています。普段は新学期に向けての準備や会議をしています。休日は友達とご飯や遊びに行っています。毎日楽しいですが、本業である勉強も頑張らないといけません。そうすることで大学生活がより楽しくなります。両立するためには切り替えをすることが大切です。

理工学部地球環境防災学科 2年
にしむら ゆうき
西村 友希さんの場合
京都府立亀岡高等学校出身



10:00
これは理工学部1号館。ここで授業を受けることがほとんどです。

おはよう
ございます



10:20
集中力を切らさないのは大変です

頑張ろう!



13:00
大学内のコンビニは商品の種類が豊富

お茶大好き



12:00
友達と食べるご飯は美味しさが増します。

いただきます



11:50
掲示板のチェックは欠かせません

毎日確認



13:30
友達と一緒に課題に取り組みあつという間に終わります

難しい



19:00
夜ご飯はお気に入りのチキン竜田丼

おいしい



17:30
放課後は図書館でレポート作成

集中できます

西村さんの1週間スケジュール

項目	8:40 ~ 10:10	10:20 ~ 11:50	12:40 ~ 14:10	14:20 ~ 15:50	16:00 ~ 17:30
月		地球環境科学I		気候システム学	
火				気象学I	天文学
水		固体地球物理学	コンピューター演習		
木		地質学演習	層位学・古生物学	地震学I	建設構造学
金		地球流体力学	自然防災学		

1ヵ月の生活費

弘前大学

(単位:円)

	項目	アパート・下宿	学生寮	自宅
収入	仕送り・小遣い	57,720	24,930	9,130
	奨学金	28,120	45,680	24,930
	アルバイト	17,270	20,290	24,830
	その他	3,390	1,470	2,940
	収入合計	106,500	92,370	61,830
支出	食費	21,690	13,940	9,030
	住居費(光熱水料含む)	46,120	24,610	60
	交通費	710	480	6,700
	教養娯楽費	7,630	9,650	7,030
	書籍費	1,670	1,630	1,710
	勉学費(文具類)	1,590	960	1,730
	日常費(衣類)	6,130	8,840	6,300
	電話代	3,700	2,840	2,210
	その他	2,330	4,350	1,990
	貯金繰越	12,860	25,400	26,030
支出合計	104,430	92,700	62,790	

関東圏 A 大学

(単位:円)

	項目	アパート・下宿	学生寮	自宅
収入	仕送り・小遣い	78,230	59,170	13,350
	奨学金	17,040	11,670	8,950
	アルバイト	41,270	21,670	37,320
	その他	1,900	4,280	4,280
	収入合計	138,440	92,510	63,900
支出	食費	27,050	24,000	13,990
	住居費(光熱水料含む)	52,440	28,000	440
	交通費	7,400	7,000	7,020
	教養娯楽費	10,280	22,000	14,130
	書籍費	1,230	2,000	1,790
	勉学費(文具類)	1,490	4,400	1,960
	日常費(衣類)	8,230	3,000	4,640
	電話代	3,890	5,000	1,390
	その他	3,960	5,000	1,530
	貯金繰越	19,290	400	14,860
支出合計	135,260	100,800	61,750	

※「第54回学生生活実態調査」全国大学生生活協同組合連合会(2018年10月実施)から



私は「弘大囃子組」というお祭りの囃子を演奏する青森ならではのサークルに所属しています。週3回の練習と、休日には福祉施設やイベントで演奏します。勉強もきちんとこなしながら、サークルや寮生活で友達と充実した生活を送っています！

理工学部電子情報工学科 3年
さいとう なな
斎藤 菜那さんの場合
茨城県立土浦第一高等学校出身

ねむい…

8:20



寮を出発します！

8:40



びーす！

1コマ目は情報基盤センターで、パソコンを使いながら調べたことを発表します。



もぐもぐもぐ

12:00

研究室で友達とおしゃべりしながら食べました。



11:50

ポテトだいすき！

キャンパス内のコンビニでお昼を買いました。

10:20



ふむふむ

2コマ目は総合教育棟で研究室の先生の講義を受けました。



何作ろうかな…

12:40

理工棟でICTの授業を受けました。



18:50

おいしい～

寮に帰って夕食です。今日は豪華にハンバーグ！



ドンドン！

17:40

大学会館でサークルメンバーと練習！



快適～

寮の部屋に戻って今から課題を済ませ、ゆっくりします。

斎藤さんの1週間スケジュール

項目	8:40～10:10	10:20～11:50	12:40～14:10	14:20～15:50	16:00～17:30
月			ベンチャービジネス論		
火	電子情報工学演習 A	工学の世界—自然の計測	ICT実践演習		
水	科学技術英語				
木	電子情報工学演習 B	電子情報工学実験 III	電子情報工学実験 III		
金					研究室打ち合せ

弘大生の学生生活あれこれ

項目	平均	文系	理系	医系
1日の勉強時間(分)	275.3	244.7	260.8	349.1
1日の読書時間(分)	31.9	39.1	28.9	26.4
サークルに加入・所属している(%)	74.3	74.8	73.7	74.8
学生生活は充実している(%)	86.2	87.5	84.4	87.4

入学準備費用例 (生活準備費用、教材費は個人差があります。)

(単位：円)

項目	アパート	食事付き下宿	学生寮	自宅
大学への納付金			282,000	
前期授業料			267,900	
弘前大学後援会費			30,000	
学部同窓会・後援会費			学部によって異なります。	
生活準備費用			25,000	
生協加入出資金			28,100	21,400
共済・保険加入※1			9,450	
学生生活110番※2			4,660	
学研災・学研賠※3				
住居の契約費用：4月分家賃	120,000	124,000	30,000	0
引越・交通費		60,000		0
新生活用品	250,000	100,000	50,000	0
4月生活費	50,000	40,000	30,000	30,000
ミールカード(弘大プラン)※4	250,000		118,000	
教材費等			50,000	
パソコン※6			217,800	
電子辞書※7			33,800	
運転免許取得※8			276,752	
合計	1,955,462	1,667,462	1,513,462	1,366,762

※1…大学生協が取り扱う保険で、補償内容は充実しています。加入コースによって金額は異なります。1年目の保険料です。
 ※2…24時間365日の緊急駆けつけサービスと安心サービスです。4年間一括払いの費用です。※3…履修科目によって、加入を義務付けている学部もあります。加入コースによって、金額は異なります。※4…生活パターンに応じて3タイプあります。2019年度のプランは、ベストプラン：250,000円(1日1,300円利用・3食目安)/トライプラン：190,000円(1日900円利用・2食目安)/ジャストプラン：118,000円(1日550円利用・1食目安)でした。※5…学部(学科)によって金額は異なります。※6…4年間安心サポート付き生協推奨モデル。※7…医学部用は金額が異なります。※8…マニュアル免許取得料金。※4～※8は2019年度の価格です。

2020年度イベント予定

4月
April

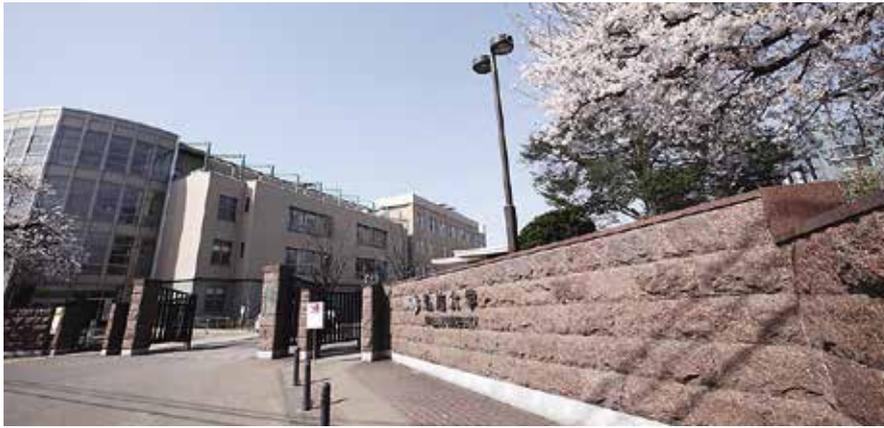
- 入学式 4/3
- 前期授業開始 4/9 ~

5月
May

- 開学記念日 5/31

6月
June

(新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となることがあります。)



弘前大学文京町キャンパス正門



入学式



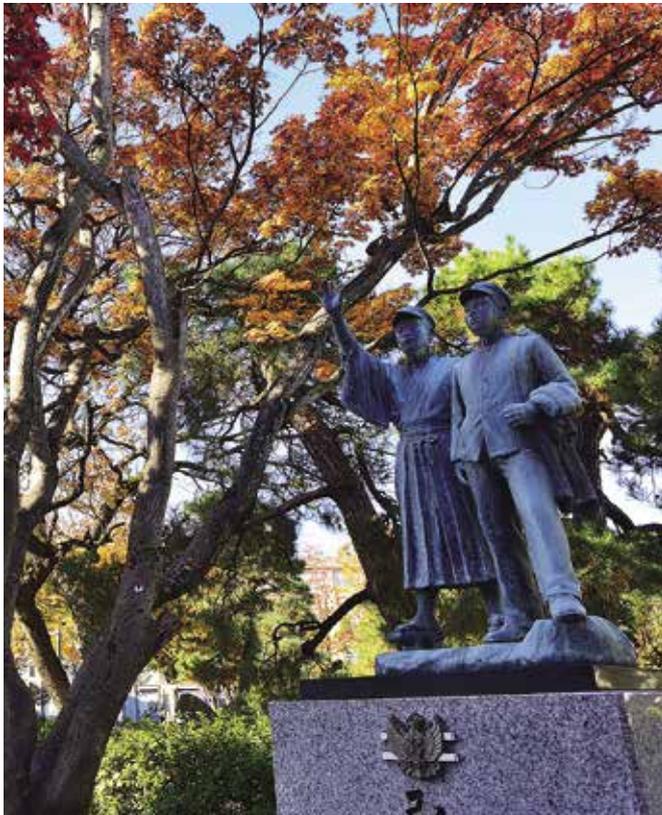
旧制弘前高等学校外国人教師館(弘大カフェ)



入学式

CAMPUS CALENDAR

きょうから明日、そして未来へ。



青春の像

総合文化祭



10月
October

- 後期授業開始 10/1 ~
- 総合文化祭 10/23 ~ 10/25

11月
November

12月
December

- 冬季休業 12/26 ~ 1/5

7月
July

8月
August

- 弘前ねぶたまつり 8/1～8/7
- オープンキャンパス 8/8
- 夏季および秋季休業 8/7～9/30

9月
September



オープンキャンパス



弘前ねぶた祭り



オープンキャンパス

あざやかな季節とともにさまざまな彩りに恵まれながら
 キャンパスでの1年は過ぎていきます。
 学業、サークル活動、友との語りetc.
 地域との深い絆を感じるイベントも。自由の風を
 感じながらかけがえのない時を過ごしましょう。



生体部分肝移植
世界最長生存犬の像



学位記授与式



冬のキャンパス



学位記授与式

1月
January

2月
February

- 学年末休業 2/9～3/31

3月
March

- 学位記授与式(卒業式) 3/23

アカデミズムに染まろう

文京町キャンパス

人文社会科学部、教育学部、理工学部、
そして農学生命科学部と、4学部が広がるキャンパス。
さまざまな研究施設なども集まり
学生の街・弘前を代表するアカデミックな雰囲気です。



キャンパスガイド動画



360°動画

1 附属図書館

文京町キャンパスに本館、本町キャンパスに医学部分館があり、ゆうに80万冊を超える図書資料を所蔵しています。教育・研究に用いる文献、電子化された資料などの閲覧ニーズに応えるほか、研究情報の発信も担います。



360°動画

2 弘前大学資料館

「弘前大学 過去から未来へ」というテーマを掲げてオープン。太宰治が学んだ旧制弘前高等学校ほか、前身となる各校の紹介も含めて現在に至る歴史を辿ります。また、次代へ先駆ける研究シーズやプロジェクトの紹介もあります。



3 コラボ弘大

弘前大学創立60周年を記念して建設されたインテリジェントビルです。レンタルラボや機器分析センター等の産学官連携・社会貢献機能が揃っています。1階には軽食をとれるスペースがあり、休憩場所として使うこともできます。



4 フーコーの振り子

科学の眼を育てるなら、理工学部の関連施設であるサイエンスパークがオススメです。地球の自転を観測するのに用いるのが、フーコーの振り子。なんと弘前大学に設置してあるものは、わが国で最大の長さを誇っています。



5 旧制弘前高等学校 外国人教師館 弘大カフェ

大正14年[1925]、異国から弘前の地へ赴いてきた語学教師の宿舎として建てられ、移築・復元されました。レンガ・タイルなどを用いて高度な建築様式が施され、学術の面でも貴重な存在です。建物には弘大カフェが設けられています。



6 体育施設[多目的広場]

多目的広場は、サッカー、ラグビー、ソフトボール等のさまざまな屋外競技に活用されています。屋内体育施設としては、第一体育館と第二体育館、武道場があり、体育の授業やサークル活動に使用されています。



7 弘前大学出版会

刊行ラインアップは人文科学・社会科学・自然科学の多岐に及びます。教育・研究活動の成果を学術図書として刊行。さまざまな出版物を通して学術・文化の発展を担う本学の取り組みは、全国的にも高い評価を得ています。



8 創立50周年記念会館

旧制・弘前高校の講堂を思わせる外観。およそ300名を収容する「みちのくホール」も備わっており、音楽会のようなイベントも開催できます。学会・研究会、学生活動、さらに市民向けの公開講座など多目的に活用されます。



9 北日本考古学研究センター

フィールドワークに基づく、独自の亀ヶ岡文化研究。そのパイオニアぶりを伝える施設です。はるか昔、先人が生きた証を発掘・調査する拠点であり、さまざまな埋蔵文化財および研究史料の公開展示にも力を入れています。



10 史跡[太宰治文学碑]

弘前大学創立60周年と太宰治の生誕100年を記念して、外人教師館の傍らに太宰治文学碑が建てられました。その他、キャンパス内に永澤誠藏先生顕徳碑や「ピポクラテスの木」石碑など多くの史跡があります。



11 大学会館

全学の学生・教職員に親しまれている共用施設です。クラス・ゼミの単位で開催する勉強会やセミナー、あるいはサークルのミーティングなどに活用する集いの場。



12 情報連携統括本部 情報基盤センター

多岐にわたる教育・研究活動を支える情報インフラの拠点として、学内に巡らされたITシステムの管理・運用を行います。また、青森県内に立地している学術機関をつなぐ情報ネットワークの中核という重責も担います。



13 保健管理センター

心身とも、すこやかな毎日を過ごせるようにキメ細かな支援やサービスを提供します。健康診断の実施をはじめ「体調がすぐれない」といった場合の応急処置、メンタルな要素に関するカウンセリングなどを行っています。

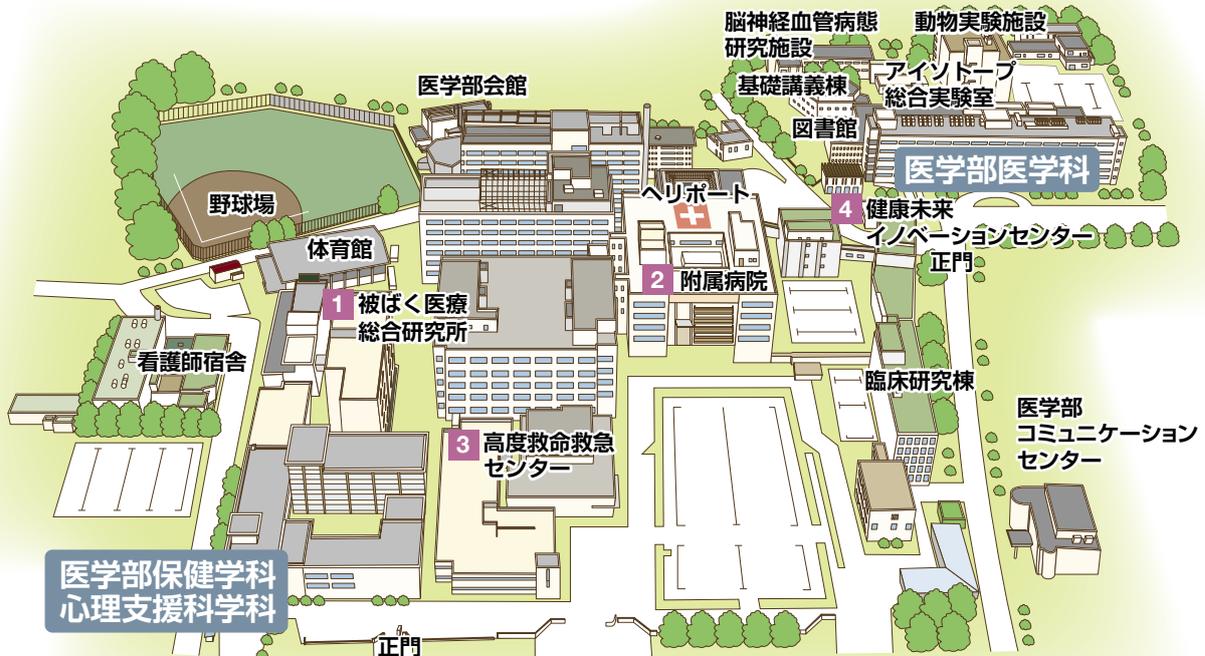


二次元コードの下にYouTubeマークがあるものは、あらかじめYouTubeアプリをダウンロードしておいてください。YouTubeアプリで360度動画をご覧いただけます。

あすの医療人が育つところ

本町キャンパス

医学部の医学科と、保健学科及び心理支援科学科の学生が集います。
 こちらには臨床施設としての附属病院、そして高度救命救急センターがあります。
 さらに被ばく医療総合研究所、脳神経血管病態研究施設も
 医学ならびに医療の教育研究と密接に連動します。



1 被ばく医療総合研究所

原子力施設が集積している青森県で、アクシデントに備える体制拡充に努めています。基礎レベル・臨床レベルで放射線被ばく医療の研究を推進。緊急事態に対応するスペシャリスト育成でも、先駆的な役割を果たします。



2 医学部附属病院

北東北に広がる医療圏の中核病院として、先進的かつ高度で良質な医療サービスを担います。本町キャンパスに立地しており、医師・看護師・放射線技師など医療専門職を志す人材が、臨床実習を通して学ぶ場でもあります。



3 高度救命救急センター

内科系・外科系に加え、さまざまな検査部門なども擁する医学部附属病院。その中の各診療科と連動しつつ、救急医療に特化する機能を発揮します。緊急被ばく医療の体制も整っており、安心と信頼が各方面から寄せられます。



4 健康未来イノベーションセンター

平成28年度、弘前大学、青森県、弘前市が文部科学省「地域科学技術実証拠点事業」に採択されて新設。健康長寿の総合研究を通して地方創生を目指すために、学内外の研究者や企業、地域住民が本センターに集います。

充実した大学生活をバックアップ

学園町キャンパス

弘前大学教育学部附属学校園とともに、多様な運動施設と学生寮。
 多くの学生が大学生活を楽しんでいます。



運動施設

学園町エリアには、総合運動場や野球場、サッカー場、プール、乗馬場など運動施設が充実しています。また、弘前大学教育学部附属の幼稚園、小学校、中学校があり、教育・研究の実践の場ともなっています。



学生寮

男子寮の北鷹寮、女子寮の朋寮があります。食事でもでするので、初めての一人暮らしでも安心です。全国各地から集まるたくさんの仲間達との交流の中で学ぶこともたくさんあります。(弘前市緑ヶ丘にも男子寮「北鷹寮」があります)

サークル

待っています、期待のニューフェイス。



体育系

競技種目・カテゴリー	団体名
野球(硬式)	●硬式野球部
野球(軟式)	●軟式野球部 ●軟式野球サークルミーツ ●ベアーズ ●プロメテウス
ソフトボール	●男子ソフトボール部 ●女子ソフトボール部
ハンドボール	●弘前大学男子ハンドボール部 ●弘前大学女子ハンドボール部
サッカー	●全学サッカー部(男) ●弘前大学女子サッカー部 ●サッカー券 ●フット猿 ●クリスタルカイザー ●フットサークルMRSK
ラグビー	●弘前大学ラグビーフットボール部
アメリカンフットボール	●アメリカンフットボール部
テニス(硬式)	●硬式庭球部 ●オールスターテニスサークル ●テニスサークルNASA
テニス(軟式)	●全学ソフトテニス部 ●ソフトテニスサークルOrange
バスケットボール	●男子バスケットボール部 ●女子バスケットボール部
バレーボール	●全学男子バレーボール部 ●全学女子バレーボール部
バドミントン	●弘前大学バドミントン部 ●全学バドミントンサークル
卓球	●弘前大学全学卓球部 ●弘前大学卓球サークルM E T
武術・格闘技	●弘前大学合気道部 ●弘前大学居合道部 ●弘前大学空手道部 ●弘前大学剣道部 ●柔道部 ●少林寺拳法部 ●弘前大学テコンドー部 ●総合格闘技サークル ●古武術研究会 ●弘前大学スポーツチャンバラ同好会
陸上	●弘前大学陸上競技部
水泳	●水泳部 ●べんぎんず
馬術	●馬術部
体操・ダンス	●器械体操競技部 ●弘前大学競技ダンス部 ●ストリートダンスサークルA.C.T. ●弘前大学よさこいサークルHIRODA焰舞陣
アーチェリー・弓道	●弘前大学アーチェリー部 ●弘前大学弓道部
スキー・スノーボード	●弘前大学競技スキー部
山岳・ハイキング	●弘前大学山岳部 ●探検部 ●ワンダーフォーゲル部
パラグライダー	●パラグライダーサークル Free Wave
サイクリング	●弘前大学サイクリング部
ボウリング	●ボウリング部
スノーボード	●スノーボードサークル
その他スポーツ	●アダブテットスポーツサークル乗SO～

文化系

ジャンル・カテゴリー	団体名	
音楽演奏	●M・C・Q ●弘前大学クラシックギタークラブ ●弘前大学JAZZ研究会 ●弘前大学スティールパン部 ●津軽三味線サークル ●弘前大学吹奏楽団 ●弘前大学マンドリン倶楽部 ●弘前大学フィルハーモニー管弦楽団 ●弘前・スライドミュージック ●弘前大学邦楽愛好会 ●Popular Music研究会 ●Light Music Company(L.M.C) ●ROCK OFFICE ●弘大囃子組 ●弘前大学ピアノの会 ●弘前大学グラスハーブアンサンブルアンジュリーク	
	音楽合唱	●弘前大学混声合唱団 ●アカベラサークルV.E.L
	演劇	●劇研マップレス ●劇団ブランクスター
	放送	●弘大ラジオサークル ●放送サークル Lacus
	映画	●映画研究会 ●動画制作サークル KAGA
漫画・アニメ	●弘前大学漫画研究会 ●p.o.k.e ●イラスト同好会api	
演芸	●お笑いサークルWPS ●大道芸サークルMocha ●落語研究会 ●囲碁部 ●弘前大学表千家茶道部 ●シミュレーション同好会 ●弘前大学全学写真部 ●弘前大学書道部 ●陶芸倶楽部 ●パフェサークル明和荘 ●弘前大学美術部 ●文芸部 ●JoKER ●将棋部 ●弘前大学かるた会～ききょう組～ ●カラオケ同好会【歌魂】 ●弘前大学華道部 ●弘前大学クイズ研究会 ●弘前大学鉄道研究会 ●FISHERS ●ダーツサークルIN BULL ●MushRoom ●N.B.SQUAD ●手芸サークルcouture ●弘前大学翻刻部 ●ぶよぶよサークル ●ドローン研究会 ●弘前今昔の会 ●アイドルマスター同好会@PPLE ●珈琲研究会 ●麻雀サークル 天和 ●珍珠試食サークル ●鬼ごっこサークル ●弘前大学ヲタ芸サークル DT's ●LEGO ●温泉サークル「弘前のYUGE」	
	ボランティア	●さくらボランティア ●SaBoTen ●ボランティアサークルおひさま ●ひまわりサークル ●teens&law
	企画	●弘前大学学祭本部実行委員会 ●弘前大学新歓本部実行委員会 ●キャリアサポート研究会 ●弘前大学学生会委員会 ●PC活用講座大学生生活応援塾 ●弘大Hub's ●いしてまい ●青森県から届け隊Canvas
	自然	●天文同好会COSMO ●フィールドサイエンス研究会 ●弘前大学野鳥の会 ●Milky Way
	ロボット	●弘前大学ロボティクス研究会 ●競技ロボット製作所
	環境	●環境サークルわどわ
	国際交流	●クロスカルチャークラブ ●国際協力団体Truth ●シンチャオサークル
	外国語	●スペイン語サークル ●弘前大学中国語サークル
	地域との交流	●児童文化研究部KIDS' ●僻地教育研究会 ●農家・農村サポートサークルTEAM DANBURI ●ポットナス ●弘前学生BBS会 ●学生地域団体 Smoothie ●らぶるの -Love for children-
		社会一般

弘前ガイド

HIROSAKI GUIDE

ひろだい生になったなら、ふだんの暮らしの中で
便利に利用したり、親しんだり、
訪れたりしてほしい場所を紹介します。
学生が行き交う通りも、
お城の周りに広がる街並みも
どこか優しげで愛着が湧いてくる。
そんな弘前で、
実り多き日々を過ごしてください。



弘前ガイド動画

ホームタウン、と呼びたい風情

土手町の界隈 DOTEMACHI

この街に親しむなら、まず土手町へ行って街歩きを楽しみましょう。「どてぶら」なる言葉が表すように散歩すると多くの発見、ときめきに恵まれます。和と洋、そして古き良きもの・今どき感覚のアレコレという感じで渾然一体の魅力が尽きません。学生の懐具合に優しく、おいしい食事を出してくれる店が何軒も。おしゃれな雰囲気のカフェも選ぶのに困るぐらいで、それぞれ店の個性が際立ちます。またFM局のスタジオや飲食店、多目的スペースが入る複合施設のオープンは大きな話題の一つ。新しい刺激を受けて僕たちの街なかライフは、どんどん進化しそうな勢いです。それから市街地と田園風景を結ぶ弘南鉄道も、とても身近な存在です。ガタゴト走る電車の音、沿線風景がステキです。



各キャンパスへのアクセス

■弘前駅～本町キャンパス(約20分)

・JR弘前駅前(中央口)【6番のりば】「駒越線」、
「相馬線」等に乗車、【大学院前】で下車
・JR弘前駅前(中央口)【8番のりば】「金属団地・
桜ヶ丘線」に乗車、【本町】で下車

■弘前駅～文京町キャンパス(約15分)

JR弘前駅前(中央口)【3番のりば】
「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車、
【弘前大学前】または【弘前大学農学生命科学部前】
で下車

■弘前駅～学園町キャンパス(約20分)

JR弘前駅前(中央口)【3番のりば】「学園町線」に
乗車、【学園町】で下車
※()内は夏季におけるバス乗車時間の目安です。





街の空気を感じて
歩いてみよう

駅前界隈

EKIMAE



どこかへ列車で行く時に限らず、買い物したり街の雰囲気を楽しめる駅前界隈。大学の周りとは違って、駅ビルをはじめ大きな商業施設があるので、いろいろと新しい発見に恵まれるのも駅前の特徴です。服や雑貨、それにインテリア用品などの品定めをしながら思い思いに過ごせます。また夏には、大迫力で街路を練り歩く「弘前ねぶた」を、じっくり見ることができます。

世代を超えて
親しまれる学生街

西弘の界隈

NISHIHIRO



ひろだい生で「西弘へ行ったことがない」なんて人は、まず存在しないでしょう。それほど、なじみ深く日々の暮らしに密着している学生街です。弘南鉄道の駅へも近いので移動にも便利です。昔ながらの佇まいが残っていて、それが味わい深い風情を醸し出しています。たくさんの先輩たちも親しんできた一帯に、おいしくてリーズナブルな料金の食べもの屋さんが並んでいます。友だちと連れだって食事に行ったり、新入生歓迎会やサークルの打ち上げで繰り出したり、いろんな機会を通して西弘を楽しんでいます。



学都・弘前市とその周辺



弘前公園

ソメイヨシノ・ヤエザクラの彩りは、石垣や天守閣とともに風景画さながらの美しさ。その昔、津軽氏が居城を構えていた歴史スポット。今では全国でも屈指のサクラの名所として、北国の春を楽しむ花見客が訪れます。



最勝院五重塔

国の重要文化財で、東北随一の美しき塔とも謳われています。津軽藩の第3代藩主・信義が明暦2年[1656]に建立を命じ、完成に至ったのが寛文7年[1667]。釘を用いることなく、精緻な匠の技が活かされています。



弘前ねぶたまつり

かけ声に太鼓・笛・鉦の音色が重なり、どことなく典雅な響きが漂う「ねぶた囃子」。その調べに乗り、大型ねぶたが街路を運行する様子は圧巻です。夏の津軽路を詩情ゆたかに盛り上げる郷土の誇りは、国の重要無形民俗文化財。



旧弘前市立図書館

ルネサンス様式ならではの重厚さ、伝統・格식을醸し出す木造3階建て。八角形の尖塔がツインタワーのように、空を指している印象です。日露戦争の勝利を機に建てられ、昭和初期まで市立図書館として使われていました。



吉野町緑地公園

四季折々、癒しや寛ぎを求める市民や観光客に愛されているスポット。土手町・鍛冶町といった中心街に近く、市街地や岩木山の眺めも良好です。弘南鉄道の沿線でもあり、そばを通り過ぎる電車の音も優しく聞こえます。



日本基督教団弘前教会

ノートルダム大聖堂がモチーフとされる洋風建築。全国で7番目に古いプロテスタント教会の堂として使われてきました。ゴシック調の塔壁・窓などに印象的な意匠が施されています。また内観は、白い漆喰が基調です。



弘前昇天教会

大正9年[1920]の竣工で、イギリス風に赤レンガを積み上げた外観です。正面の右側には、釣り鐘塔が建っています。アーチを描く梁、白壁などが織り成す内部も重厚感ただよう造り。1880年代のオルガンが今なお、使われています。



藤田記念庭園

洋風の庭園に和風庭園。さらに八角の塔がある洋館・レンガ造りの倉庫・和の粋を活かした木造家屋などが点在しており、21,800㎡もの広さ。大正8年[1919]、弘前出身の実業家・藤田謙一が別邸を立てる際に造らせたと言われます。

入試データ

学部学生の入学状況 (令和2年5月1日現在)

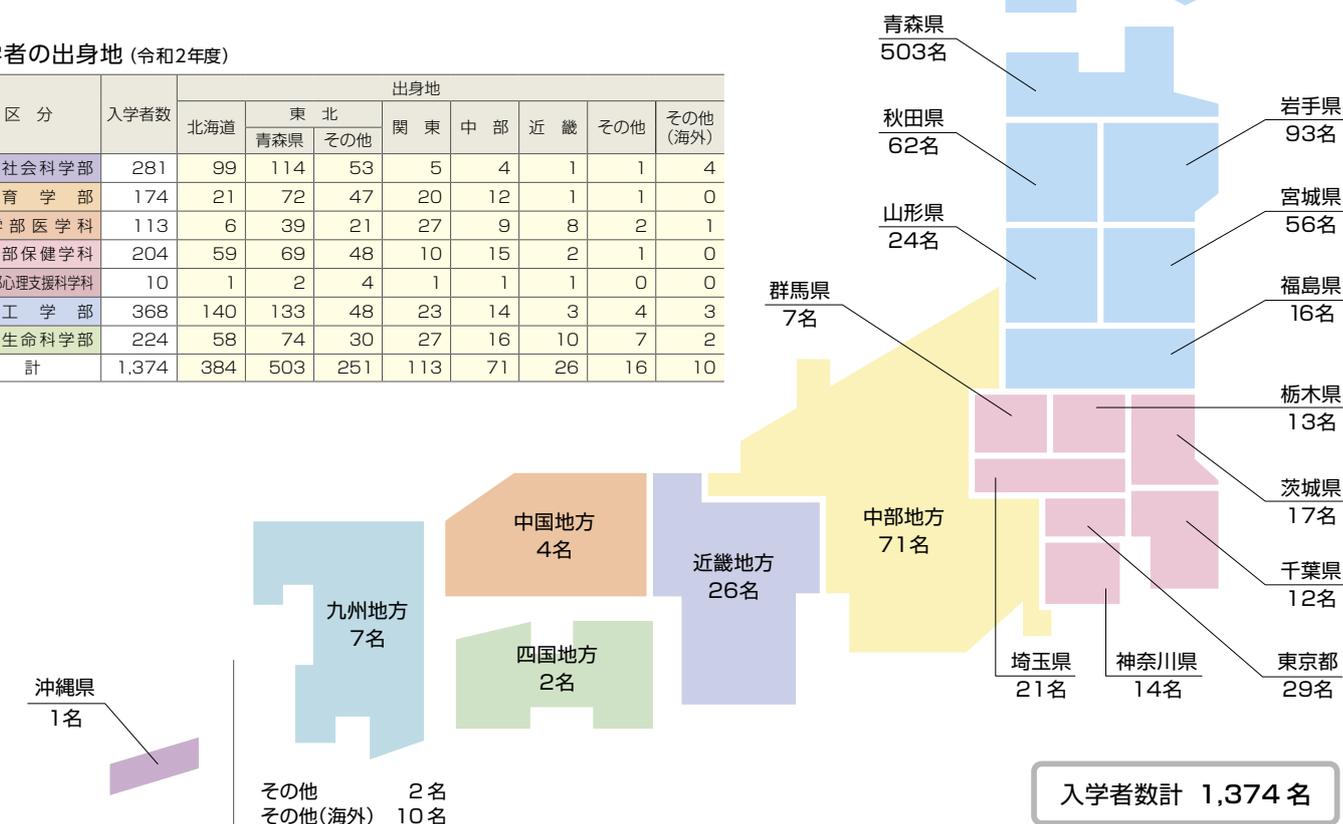
区分	入学定員	入学者数	男女比		既卒者の割合
			男	女	
人文社会科学部	265	281	51.6%	48.4%	10.3%
教育学部	160	174	40.8%	59.2%	13.8%
医学部 医学科	112	113	57.5%	42.5%	45.1%
医学部 保健学科	200	204	33.3%	66.7%	8.3%
医学部 心理支援科学科	10	10	40.0%	60.0%	20.0%
理工学部	360	368	87.5%	12.5%	17.4%
農学生命科学部	215	224	56.7%	43.3%	18.8%
計	1,322	1,374	58.4%	41.6%	16.7%

学生数 (令和元年5月1日現在)

区分	収容定員	現員
人文社会科学部	1,060	1,162
教育学部	680	725
医学部 医学科	772	793
医学部 保健学科	860	830
理工学部	1,460	1,487
農学生命科学部	860	901
計	5,692	5,898
大学院	846	892

入学者の出身地 (令和2年度)

区分	入学者数	出身地							
		北海道	東北		関東	中部	近畿	その他	その他(海外)
			青森県	その他					
人文社会科学部	281	99	114	53	5	4	1	1	4
教育学部	174	21	72	47	20	12	1	1	0
医学部 医学科	113	6	39	21	27	9	8	2	1
医学部 保健学科	204	59	69	48	10	15	2	1	0
医学部 心理支援科学科	10	1	2	4	1	1	1	0	0
理工学部	368	140	133	48	23	14	3	4	3
農学生命科学部	224	58	74	30	27	16	10	7	2
計	1,374	384	503	251	113	71	26	16	10



資料や過去問の入手方法

大学案内、学部案内、募集要項などの資料請求や過去問題の入手方法は、入試課HPから。

弘前大学 入試課

検索

<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



入試情報HP



携帯サイト



テレメールでの
資料請求はコチラ▶▶

資料請求サイト



弘前大学入試課HP

1 資料請求

郵送やテレメールなどの他、入試課窓口でも直接入手できます。

2 資料閲覧

資料の内容をデジタルパンフレット等で確認できます。

3 過去問題

入試過去問題をダウンロードできます。

令和2年度 弘前大学入学者選抜試験
試験結果(総括)

学部	学科課程等	入学人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		
							科学部	文化創生課程
	社会経営課程	155	515	366	173	165		
	合計	265	996	727	297	281		
教育学部	小学校コース 初等中等教育専攻 中学校コース 特別支援教育専攻	国語専修	80	304	187	84	82	
		社会専修			22	9	9	
		数学専修			20	18	8	
		理科専修			11	11	8	
		音楽専修			21	20	9	
		美術専修			6	6	4	
		保健体育専修			2	2	2	
		技術専修			17	16	7	
		家庭科専修			4	4	2	
		英語専修			15	13	5	
		特別支援教育専攻			13	12	7	
		特別支援教育専攻	10	26	26	11	11	
		小計	140	461	337	156	152	
		看護教諭養成課程	20	68	65	22	22	
		合計	160	529	402	178	174	
医学部	保健学科	看護学専攻	112	443	381	113	113	
		放射線技術科学専攻	80	172	153	87	79	
		検査技術科学専攻	40	118	109	43	43	
		理学療法科学専攻	40	135	124	42	40	
		作業療法科学専攻	20	77	69	23	22	
		小計	200	574	521	217	204	
		心理支援科学科	10	44	42	11	10	
		合計	322	1,061	944	341	327	
		理工学部	数物科学科	78	289	193	89	82
			物質創成化学科	52	134	88	58	52
地球環境防災学科	65		199	139	68	65		
電子情報工学科	55		209	142	61	58		
機械科学科	80		233	163	88	80		
自然エネルギー学科	30		73	51	35	31		
合計	360		1,137	776	399	368		
農学生命科学部	生物学科	40	195	115	46	41		
	分子生命科学科	40	145	77	45	41		
	食料資源学科	55	202	114	61	58		
	国際園芸農学科	50	161	88	57	53		
	地域環境工学科	30	105	73	35	31		
合計	215	808	467	244	224			
総計		1,322	4,531	3,316	1,459	1,374		

*合格者数には追加合格を含まない。

令和2年度 弘前大学入学者選抜試験
AO入試I・II、社会人、私費外国人入試 試験結果

学部	学科課程等	AO入試I (センターを課さないもの)					AO入試II (センターを課すもの)					社会人入試					私費外国人留学生入試									
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数					
科学部	文化創生課程	25	68		67	25	25														4	3	1	1		
	社会経営課程	35	66		66	36	36														若干名	16	10	3	3	
	計	60	134	2.2	0	133	61	61													—	20	13	4	4	
教育学部	小学校コース 初等中等教育専攻 中学校コース 特別支援教育専攻	国語専修								26	26				26	19	19				若干名	0	0	0	0	
		社会専修																			若干名	0	0	0	0	
		数学専修																			若干名	0	0	0	0	
		理科専修																			若干名	0	0	0	0	
		音楽専修	3	6		6	4	4													若干名	0	0	0	0	
		美術専修	3	2		2	2	2													若干名	0	0	0	0	
		保健体育専修	5	17		16	7	7													若干名	0	0	0	0	
		技術専修																			若干名	0	0	0	0	
		家庭科専修																			若干名	0	0	0	0	
		英語専修																			若干名	0	0	0	0	
		特別支援教育専攻	5	14		14	5	5													若干名	0	0	0	0	
		看護教諭養成課程	6	26		26	6	6													若干名	0	0	0	0	
		計	22	65	3.0	0	64	24	24	26	26	1.0	0	26	19	19					—	0	0	0	0	
		医学部	保健学科	医学科							42	89			89	42	42					若干名	2	1	1	1
				看護学専攻								20	43			42	20	若干名	2		2	2	1	若干名	0	0
放射線技術科学専攻											10	37			10	10					若干名	1	0	0	0	
検査技術科学専攻											10	41			10	10					若干名	0	0	0	0	
理学療法科学専攻											5	19			6	若干名	1		1	1	1	若干名	0	0	0	
作業療法科学専攻											5	10			5	5					若干名	0	0	0	0	
小計										50	150			149	51	51	—	3	0	0	3	3	—	1	0	0
心理支援科学科																			若干名	2	2	0	0			
計								92	239	2.6	0	238	93	93	—	3	—	0	3	3	—	5	3	1		
理工学部	数物科学科	20	20		20	18	18							若干名	0				0	0	0	若干名	3	2	1	
	物質創成化学科	13	8		8	8	8							若干名	0				0	0	0	若干名	1	1	1	
	地球環境防災学科	17	28		26	17	17							若干名	0				0	0	0	若干名	1	0	0	
	電子情報工学科	14	31		31	14	14							若干名	0				0	0	0	若干名	7	5	1	
	機械科学科	20	22		22	20	20							若干名	1		1	0	0	0	若干名	5	2	0		
自然エネルギー学科	10	13		13	10	10							若干名	0		0	0	0	0	若干名	1	1	0			
計	94	122	1.3	0	120	87	87						—	1	—	0	1	0	0	—	18	11	3			
農学生命科学部	生物学科								7	21			21	8	8	若干名	0			0	0	若干名	2	1	0	
	分子生命科学科								7	9			9	7	7	若干名	1		1	0	0	若干名	4	4	2	
	食料資源学科	10	17		17	10	10							若干名	0				0	0	0	若干名	5	5	0	
	国際園芸農学科	13	15		15	12	12							若干名	1		1	1	1	若干名	2	2	1	0		
	地域環境工学科	6	5		5	4	4							若干名	0		0	0	0	若干名	0	0	0	0		
計	29	37	1.3	0	37	26	26	14	30	0	0	30	15	15	—	2	—	0	2	1	—	13	12	3		
合計		205	358	1.7	0	354	198	198	132	295	2.2	0	294	127	127	—	6	—	0	6	4	3	—	56	39	11

令和2年度 弘前大学入学者選抜試験
一般入試(前期日程) 試験結果

学部	学科課程等	募集人員	志願者数	志願倍率	欠席者数	欠席率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	
											科学部
	社会経営課程 (国語選択)	60	140	2.3	7	5.0	133	2.2	65	64	
	(数学選択)	40	87	2.2	2	2.3	85	2.1	43	42	
	合計	170	421	2.5	11	2.6	410	2.4	183	177	
教育学部	小学校コース 初等中等教育専攻 中学校コース 特別支援教育専攻	国語専修	34	127	3.7	17	13.4	110	3.2	44	43
		社会専修	7	22	3.1	0	0.0	22	3.1	9	9
		数学専修	7	20	2.9	2	10.0	18	2.6	8	8
		理科専修	7	11	1.6	0	0.0	11	1.6	8	8
		音楽専修	7	21	3.0	1	4.8	20	2.9	9	9
		美術専修									
		保健体育専修									
		技術専修	3	4	1.3	0	0.0	4	1.3	2	2
		家庭科専修	3	15	5.0	2	13.3	13	4.3	5	4
		英語専修	5	13	2.6	1	7.7	12	2.4	7	6
		特別支援教育専攻	5	12	2.4	0	0.0	12	2.4	6	6
		小計	78	245	3.1	23	9.4	222	2.8	98	95
		看護教諭養成課程	14	42	3.0	3	7.1	39	2.8	16	16
		合計	92	287	3.1	26	9.1	261	2.8	114	111
		医学部	保健学科	医学科	70	352	5.0	61	17.3	291	4.2
看護学専攻	60			127	2.1	18	14.2	109	1.8	65	58
放射線技術科学専攻	30			80	2.7	8	10.0	72	2.4	33	33
検査技術科学専攻	30			94	3.1	11	11.7	83	2.8	32	30
理学療法科学専攻	15			57	3.8	8	14.0	49	3.3	16	15
作業療法科学専攻	15			62	4.1	6	9.7	56	3.7	17	15
小計	150			420	2.8	51	12.1	369	2.5	163	151
心理支援科学科	10	42	4.2	2	4.8	40	4.0	11	10		
合計	230	814	3.5	114	14.0	700	3.0	244	231		
理工学部	数物科学科	20	66	3.3	1	1.5	65	3.3	22	19	
	物質創成化学科	20	46	2.3	2	4.3					

令和2年度 弘前大学一般入試(前期日程・後期日程)
合格者の最高点・最低点・平均点一覧

学部・学科等	区分	配点合計	最高点		最低点		平均点		センター平均点				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
人文社会科学部	文化創生課程 (国語選択) (数学選択)	前期	1500	1178	919	977.8	597.4						
		後期	1800	1347	1194	1247.6	646.9						
		前期	1500	1140	914	965.8	591.1						
		後期	1500	1099	826	902.7	572.1						
		後期	1800	1273	1120	1181.9	610.9						
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校一入	小学校コース	前期	1300	950	789	830.0	558.6					
		後期	1100	774	630	686.8	567.8						
		国語専修	前期	1300	*	*	*	*					
		社会専修	前期	1300	*	*	*	*					
		数学専修	前期	1300	*	*	*	*					
		理系専修	前期	1300	*	*	*	*					
		美術専修	前期	1300	*	*	*	*					
		保健体育専修	前期	1300	*	*	*	*					
		技術専修	前期	1300	*	*	*	*					
		家庭科専修	前期	1300	*	*	*	*					
		英語専修	前期	1300	*	*	*	*					
		特別支援教育専攻	前期	1300	*	*	*	*					
		養護教諭養成課程	前期	1300	1057	799	858.9	573.9					
		医学部	医学科 保健学科 心理支援科学科	青森県定着枠 一般枠	前期	1900	1620	1462	1522.2	802.0			
				前期	1900	1615	1492	1533.9	816.1				
看護学専攻	前期			1300	916	724	783.7	563.0					
放射線技術科学専攻	前期			1300	978	836	879.9	617.4					
検査技術科学専攻	前期			1300	989	883	917.6	638.9					
理工学部	数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	(数学選択)	前期	1700	1363	1105	1238.5	577.7					
		(数理選択)	前期	1700	1499	1014	1147.0	570.2					
		(数学選択)	後期	1500	1145	1077	1105.7	658.8					
		(理科選択)	後期	1500	1188	871	978.1	610.7					
		前期	1700	1388	949	1117.3	560.2						
農学生命科学部	分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	前期	1300	977	840	884.4	585.0						
		後期	1400	*	*	*	*						
		前期	1300	966	811	872.9	576.4						
		後期	1400	1118	955	1016.7	640.5						
		前期	1300	919	788	851.2	555.9						

◎追加合格者の点数は含みません。◎点数は大学入試センター試験、個別学力検査の観点です。
◎センター平均点は、横断配点後の点数です。◎合格者が10名未満の場合は不表示(*)とします。

令和2年度 弘前大学入学者選抜試験
県内外別・男女別 志願者、入学者数一覧

学部	学科課程等	志願者 入学者	県内				県外				男子				女子			
			志願者	比率(%)	入学者	比率(%)												
人文社会科学部	文化創生課程	481 116	201	41.8	47	40.5	280	58.2	69	59.5	218	45.3	47	40.5	263	54.7	69	59.5
	社会経営課程	515 165	203	39.4	67	40.6	312	60.6	98	59.4	343	66.6	98	59.4	172	33.4	67	40.6
	計	996 281	404	40.6	114	40.6	592	59.4	167	59.4	561	56.3	145	51.6	435	43.7	136	48.4
教育学部	学校教育教員養成課程	461 152	207	44.9	65	42.8	254	55.1	87	57.2	206	44.7	71	46.7	255	55.3	81	53.3
	養護教諭養成課程	68 22	18	26.5	7	31.8	50	73.5	15	68.2	0	0.0	0	0.0	68	100.0	22	100.0
	計	529 174	225	42.5	72	41.4	304	57.5	102	58.6	206	38.9	71	40.8	323	61.1	103	59.2
医学部	医学科	443 113	123	27.8	39	34.5	320	72.2	74	65.5	257	58.0	65	57.5	186	42.0	48	42.5
	保健学科	574 204	209	36.4	69	33.8	365	63.6	135	66.2	202	35.2	68	33.3	372	64.8	136	66.7
	心理支援科学科	44 10	12	27.3	2	20.0	32	72.7	8	80.0	11	25.0	4	40.0	33	75.0	6	60.0
計	1,061 327	344	32.4	110	33.6	717	67.6	217	66.4	470	44.3	137	41.9	591	55.7	190	58.1	
理工学部	数物科学科	289 82	85	29.4	24	29.3	204	70.6	58	70.7	250	86.5	75	91.5	39	13.5	7	8.5
	物質創成化学科	134 52	37	27.6	17	32.7	97	72.4	35	67.3	108	80.6	41	78.8	26	19.4	11	21.2
	地球環境防災学科	199 65	42	21.1	13	20.0	157	78.9	52	80.0	142	71.4	51	78.5	57	28.6	14	21.5
	電子情報工学科	209 58	82	39.2	30	51.7	127	60.8	28	48.3	196	93.8	56	96.6	13	6.2	2	3.4
	機械科学科	233 80	86	36.9	31	38.8	147	63.1	49	61.3	213	91.4	73	91.3	20	8.6	7	8.8
	自然エネルギー学科	73 31	31	42.5	18	58.1	42	57.5	13	41.9	60	82.2	26	83.9	13	17.8	5	16.1
計	1,137 368	363	31.9	133	36.1	774	68.1	235	63.9	969	85.2	322	87.5	168	14.8	46	12.5	
農学生命科学部	生物学科	195 41	36	18.5	9	22.0	159	81.5	32	78.0	130	66.7	30	73.2	65	33.3	11	26.8
	分子生命科学科	145 41	41	28.3	13	31.7	104	71.7	28	68.3	73	50.3	22	53.7	72	49.7	19	46.3
	食料資源学科	202 58	52	25.7	19	32.8	150	74.3	39	67.2	92	45.5	24	41.4	110	54.5	34	58.6
	国際園芸農学科	161 53	51	31.7	19	35.8	110	68.3	34	64.2	85	52.8	28	52.8	76	47.2	25	47.2
	地域環境工学科	105 31	42	40.0	14	45.2	63	60.0	17	54.8	81	77.1	23	74.2	24	22.9	8	25.8
計	808 224	222	27.5	74	33.0	586	72.5	150	67.0	461	57.1	127	56.7	347	42.9	97	43.3	
合計	4,531 1,374	1,558	34.4	503	36.6	2,973	65.6	871	63.4	2,667	58.9	802	58.4	1,864	41.1	572	41.6	

*私費外国人留学生入試は県外に含む。

令和2年度 弘前大学入学者選抜試験
現役浪人別 志願者、入学者数一覧

学部	学科課程等	志願者 入学者	現役		1浪		2浪以上		その他(大検等)									
			志願者	比率(%)	入学者	比率(%)	志願者	比率(%)	入学者	比率(%)	志願者	比率(%)	入学者	比率(%)				
人文社会科学部	文化創生課程	481 116	416	86.5	106	91.4	46	9.6	7	6.0	13	2.7	2	1.7	6	1.2	1	0.9
	社会経営課程	515 165	418	81.2	142	86.1	68	13.2	18	10.9	11	2.1	2	1.2	18	3.5	3	1.8
	計	996 281	834	83.7	248	88.3	114	11.4	25	8.9	24	2.4	4	1.4	24	2.4	4	1.4
教育学部	学校教育教員養成課程	461 152	387	83.9	129	84.9	68	14.8	22	14.5	5	1.1	1	0.7	1	0.2	0	0.0
	養護教諭養成課程	68 22	66	97.1	21	95.5	1	1.5	0	0.0	1	1.5	1	4.5	0	0.0	0	0.0
	計	529 174	453	85.6	150	86.2	69	13.0	22	12.6	6	1.1	2	1.1	1	0.2	0	0.0
医学部	医学科	443 113	257	58.0	61	54.0	112	25.3	33	29.2	72	16.3	18	15.9	2	0.5	1	0.9
	保健学科	574 204	513	89.4	186	91.2	37	6.4	9	4.4	19	3.3	6	2.9	5	0.9	3	1.5
	心理支援科学科	44 10	34	77.3	8	80.0	6	13.6	2	20.0	1	2.3	0	0.0	3	6.8	0	0.0
計	1,061 327	804	75.8	255	78.0	155	14.6	44	13.5	92	8.7	24	7.3	10	0.9	4	1.2	
理工学部	数物科学科	289 82	230	79.6	66	80.5	46	15.9	14	17.1	8	2.8	1	1.2	5	1.7	1	1.2
	物質創成化学科	134 52	108	80.6	46	88.5	20	14.9	4	7.7	5	3.7	1	1.9	1	0.7	1	1.9
	地球環境防災学科	199 65	151	75.9	51	78.5	38	19.1	12	18.5	7	3.5	1	1.5	3	1.5	1	1.5
	電子情報工学科	209 58	151	72.2	47	81.0	43	20.6	9	15.5	8	3.8	1	1.7	7	3.3	1	1.7
	機械科学科	233 80	176	75.5	63	78.8	40	17.2	13	16.3	11	4.7	4	5.0	6	2.6	0	0.0
	自然エネルギー学科	73 31	62	84.9	26	83.9	7	9.6	3	9.7	3	4.1	2	6.5	1	1.4	0	0.0
計	1,137 368	878	77.2	299	81.3	194	17.1	55	14.9	42	3.7	10	2.7	23	2.0	4	1.1	
農学生命科学部	生物学科	195 41	161	82.6	37	90.2	25	12.8	4	9.8	5	2.6	0	0.0	4	2.1	0	0.0
	分子生命科学科	145 41	106	73.1	30	73.2	31	21.4	9	22.0	2	1.4	0	0.0	6	4.1	2	4.9
	食料資源学科	202 58	165	81.7	48	82.8	29	14.4	9	15.5	3	1.5	1	1.7	5	2.5	0	0.0
	国際園芸農学科	161 53	123	76.4	41	77.4	31	19.3	11	20.8	3	1.9	0	0.0	4	2.5	1	1.9
	地域環境工学科	105 31	80	76.2	24	77.4	22	21.0	7	22.6	3	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	808 224	635	78.6	180	80.4	138	17.1	40	17.9	16	2.0	1	0.4	19	2.4	3	1.3	
合計	4,531 1,374	3,604	79.5	1,132	82.4	670	14.8	186	13.5	180	4.0	41	3.0	77	1.7			

令和2年度 弘前大学入学選抜試験
地域別 志願者、入学者数一覧 ※私費外国人留学生入試は「その他(海外)」に含む。

		人文社会科学部			教育学部			医学部				理工学部						農学生命科学部					合計			
		文化創生課程	社会経営課程	計	学校教育教員養成課程	養護教諭養成課程	計	医学科	保健学科	心理支援科学科	計	数物科学科	物質創成化学科	地球環境防災学科	電子情報工学科	機械科学科	自然エネルギー工学科	計	生物学科	分子生命科学科	食料資源学科	国際園芸農学科		地域環境工学科	計	
北海道	志願者	153	173	326	55	3	58	13	140	7	160	78	41	56	71	64	18	328	47	31	47	36	13	174	1,046	
	入学者	40	59	99	21		21	6	59	1	66	34	20	29	21	27	9	140	15	6	20	12	5	58	384	
東北	青森県	志願者	201	203	404	207	18	225	123	209	12	344	85	37	42	82	86	31	363	36	41	52	51	42	222	1,558
		入学者	47	67	114	65	7	72	39	69	2	110	24	17	13	30	31	18	133	9	13	19	19	14	74	503
	岩手県	志願者	36	35	71	30	10	40	14	58	1	73	24	9	12	5	16	1	67	7	4	10	5	2	28	279
		入学者	13	15	28	17	4	21	3	15	1	19	6	2	2	2	6		18	2	2	1	2		7	93
	宮城県	志願者	15	8	23	19	4	23	27	34	4	65	15	9	15	3	12	5	59	6	7	7	9	1	30	200
		入学者	3	2	5	5	1	6	11	10	1	22	2	5	3		4	1	15		3	2	3		8	56
	秋田県	志願者	21	25	46	37	9	46	18	40	2	60	9	8	9	7	4	2	39	7	5	4	2	8	26	217
		入学者	8	4	12	9	2	11	5	16		21	3	3	1	1	1	1	10	2		2	1	3	8	62
	山形県	志願者	11	9	20	18	4	22	14	10	2	26	7	3	7	4	1	3	25	7	3	8	2		20	113
		入学者	1	3	4	3	2	5	1	5	2	8			1	1			2	1	1	2	1		5	24
	福島県	志願者	6	8	14	15		15	3	8	2	13	5	2	2	4	2	2	17	4	8	4	2	2	20	79
		入学者	1	3	4	4		4	1	2		3			2	1		3		1	1				2	16
	計	志願者	290	288	578	326	45	371	199	359	23	581	145	68	87	105	121	44	570	67	68	85	71	55	346	2,446
		入学者	73	94	167	103	16	119	60	117	6	183	35	27	22	34	43	20	181	15	20	26	26	17	104	754
	関東	計	18	21	39	51	13	64	143	24	5	172	41	14	31	14	22	4	126	53	28	29	21	19	150	551
		入学者		5	5	17	3	20	27	10	1	38	8	3	6	2	4		23	6	7	6	5	3	27	113
中部	計	13	10	23	20	5	25	41	36	2	79	16	6	17	6	13	2	60	15	7	22	15	7	66	253	
	入学者	1	3	4	10	2	12	9	15	1	25	3	1	6		3	1	14	2	4	4	4	2	16	71	
近畿	計		4	4	5		5	36	6	2	44	2	4	4	6	6	2	24	7	3	6	8	9	33	110	
	入学者		1	1	1		1	8	2	1	11	1				1	1	3	2	1	1	2	4	10	26	
中国	計				2		2	1		1	2			1		1	2		2		2	1	7		13	
	入学者													1			1		1	1		1	3		4	
四国	計							2			2	1			1	1	3			1	2		3		8	
	入学者														1		1				1		1		2	
九州	計	1	1	2	1	2	3	5	4	1	10	1					1			1	3	5	1	10	26	
	入学者	1		1		1	1	2		2												3		3	7	
沖縄	計							1	3		4				1		1				1			1	6	
	入学者														1		1								1	
その他	計	2	2	4	1		1		1	1	2	2		2			4		2	2		1		5	16	
	入学者								1		1			1			1								2	
その他(海外)	計	4	16	20				2	1	2	5	3	1	1	7	5	1	18	2	4	5	2		13	56	
	入学者	1	3	4				1			1	1	1		1		3			2				2	10	
全国合計	志願者	481	515	996	461	68	529	443	574	44	1,061	289	134	199	209	233	73	1,137	195	145	202	161	105	808	4,531	
	入学者	116	165	281	152	22	174	113	204	10	327	82	52	65	58	80	31	368	41	41	58	53	31	224	1,374	



HIROSAKI
UNIVERSITY

弘前大学

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課
TEL.0172-39-3122・3123 FAX.0172-39-3125
E-mail nyushi@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学ホームページアドレス <https://www.hirosaki-u.ac.jp/>
弘前大学入試情報ホームページ <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



入試情報
ホームページ



弘前大学
ホームページ

ACCESS MAP

〈交通アクセス〉



●新幹線

東京 ... 約3時間10分... (はやぶさ) ... 新青森 ... 約30分... (特急つがる) ... 弘前
新函館北斗 ... 約1時間... (はやぶさ) ... 新青森

●JR奥羽本線

青森 約30分... (特急) 弘前
秋田 約2時間... (特急) 弘前

●高速バス

東京(品川・浜松町) 9時間15分... (ノクターン号) 弘前
横浜 9時間45分... (ノクターン号) 弘前

●東北自動車道

川口JCT · 643.7km ····· 大鰐・弘前IC ··· 20分 ··· 弘前
青森IC ··· 11.9km ····· 浪岡IC ··· 14km ····· 黒石IC
···· 20分 ····· 弘前

●国道7号

青森 40km
1時間 弘前
秋田 165km
3時間15分 弘前

仙台 4時間20分... (キャッスル号) 弘前
盛岡 2時間15分... (ヨーテル号) 弘前